［No.1］ ServerView Installation Managerを使用した Windows Serverインストール

2023年 6月

富士通株式会社

© 2023 Fujitsu Limited

はじめに（留意事項）

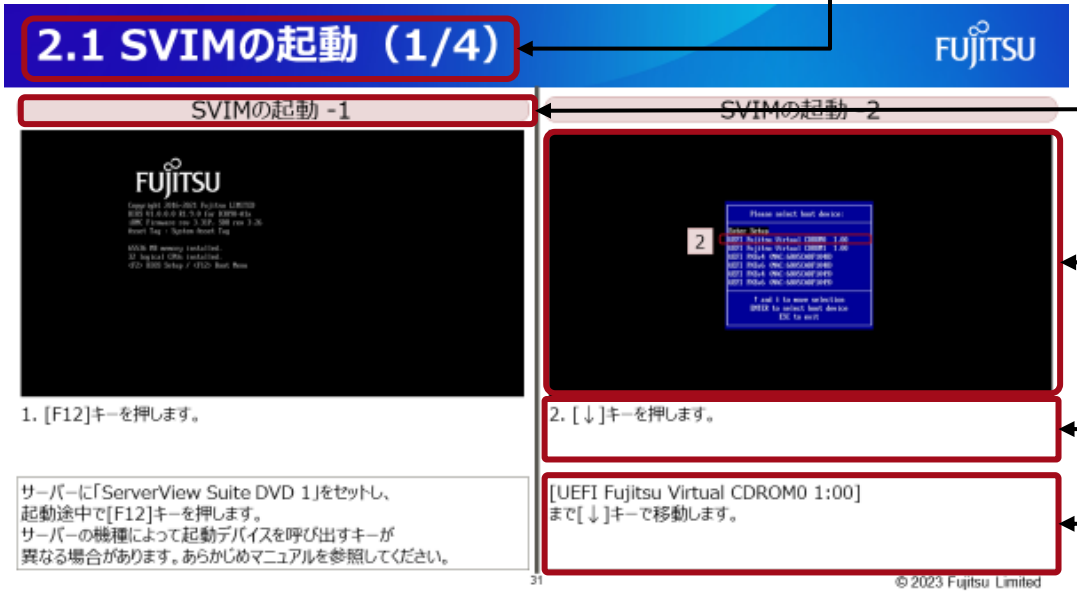
FUJITSU

- 資料内容について
  本資料の内容は2023年3月時点の情報に基づいて作成しています。
  作成に当たっては作成時における最新の資料、情報を参考にしておりますが、記載元の資料や製品については、
  予告無く、内容・仕様が変更になることがございます。
  最新の情報については、弊社または富士通グループ提供の公開サイトまたは技術情報提供用サイトにてご確認ください。

- 本資料の情報を利用した場合の責任範囲について
  本資料は富士通株式会社及び富士通グループ、または他社のプロダクト製品、
  サービスに関する情報提供を目的としております。記載された情報については受講された方の責任においてご利用ください。
  本テキストに記載された情報を最新情報による裏づけ無しで使用されたことに伴う、
  一切のトラブル・損失について、富士通株式会社または富士通グループは何ら責任を負うことができません。

© 2023 Fujitsu Limited

はじめに（テキストの見方）



ページのタイトルになります。

小項目になります。
その項目で実施する内容が簡潔に記載されています。

実際に操作を実施する画面になります。
操作指示や補足説明/設定パラメーターなどを見た上で、
操作番号の順番に操作（クリック、選択、入力など）を
実施し、設定を進めていきます（赤枠が該当箇所）。

操作番号に対応する操作指示が記載されています。

補足説明/設定パラメーター、参考情報、
注意事項などが記載されています。
操作を実施する前に必ず内容を確認してください。

© 2023 Fujitsu Limited

はじめに（用語）

本資料では、各製品について略称で記載している場合があります。

製品・ソフトウェアなどの名称	略称
ServerView Suite	SVS
ServerView Installation Manager	Installation Manager、SVIM
ServerView Agents	Agents
ServerView RAID Manager	RAID Manager、SVRAID
ServerView Agentless Service	Agentless Service、SVAS
integrated Remote Management Controller	iRMC
Unified Extensible Firmware Interface	UEFI
Windows Server	WS

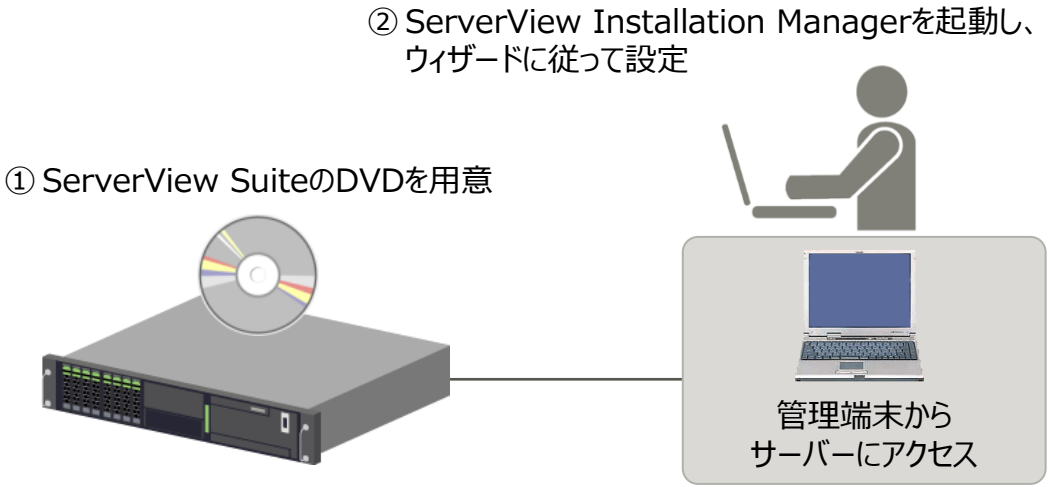
© 2023 Fujitsu Limited

はじめに（環境構成説明）

本資料での環境構成・設定値について説明します。

環境構成

サーバー名：2022SV1
モデル： PRIMERGY RX2530 M6
インストールOS：Windows Server 2022 Datacenter
IPアドレス：192.168.100.241/24



© 2023 Fujitsu Limited

目次

1. ServerView Installation Managerとは
   1.1 ServerView Suiteとは
   1.2 ServerView Installation Managerとは

2. OSインストール
   2.1 SVIMの起動
   2.2 ガイドモード
   2.3 クイックモード

3. OSインストール後の設定
   3.1 OSインストール後の設定（WS）

4. （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能
   4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能

© 2023 Fujitsu Limited

1. ServerView Installation Managerとは

1.1 ServerView Suiteとは

1.2 ServerView Installation Managerとは

© 2023 Fujitsu Limited

1.1 ServerView Suiteとは

FUJITSU

PRIMERGY / PRIMEQUESTの運用を支援する製品群

Dynamize

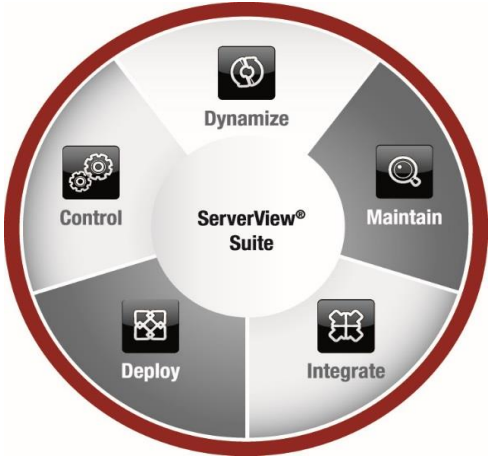
サーバーの運用・管理を『**簡潔・効果的**』に行うことをサポートします。

Control

サーバー監視のための各機能を統合し、『**簡単・効果的**』にサーバーの集中管理を行うことをサポートします。

Maintain

サーバーの動作状態によらず、『**いつ・どこから**』でもメンテナンスを行うことをサポートします。



Deploy

PRIMERGY の初期セットアップ、自動サーバーインストールなどを『**迅速・安心・確実**』に行うことをサポートします。

Integrate

FUJITSU Software Systemwalker だけではなく、他社の管理ソフトウェアとも高い親和性を持っており、『**シームレス**』に連携しIT統合をサポートします。

FUJITSU Server PRIMERGYに標準添付されているFUJITSU Software ServerView® Suiteは、[Deploy]・[Control]・[Dynamize]・[Maintain]・[Integrate]というサーバーの運用サイクルを管理するために必要な機能を提供します。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（1/21）

FUJITSU

ServerView Installation Managerとは

ServerView Installation Manager（以降のスライドにおいて、「SVIM」と表記するケースがあります）は、PRIMERGYの初期導入、再構築を支援する [セットアップ支援ツール] です。

- 簡単なパラメーター入力とOS CD/DVD の交換作業のみでセットアップを実施でき、作業時間を大幅に短縮します。
- 導入経験がない方でも短時間で簡単・確実にセットアップが実施できます。
- 導入作業の簡素化、推奨ドライバー、ホットフィックスの確実なインストールを実現します。

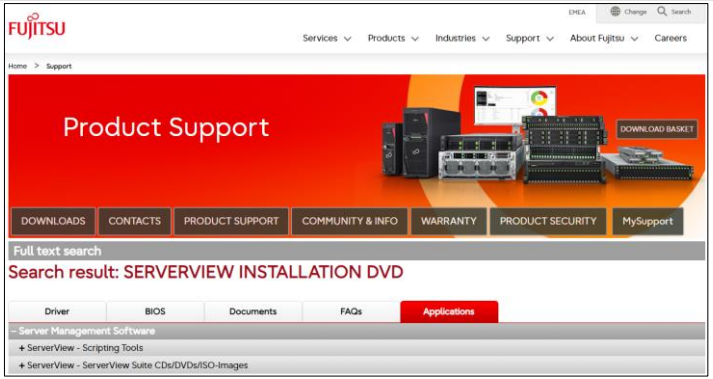
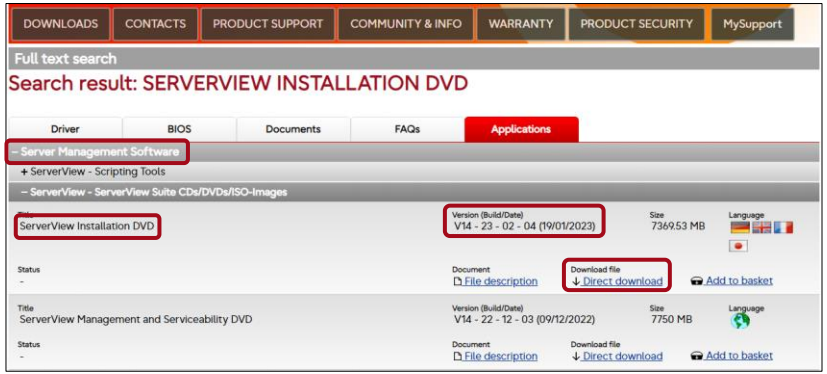
（注1）ServerView Suite DVDは、PRIMERGY手配時の選択必須オプションとなります。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（2/21）

FUJITSU

（ご参考）ServerView Suite DVDのダウンロード

ServerView Suite DVDのダウンロード方法	
ServerView SuiteのDVDイメージをFTSのダウンロードサイトからダウンロードできます。 1. ブラウザでURLを入力し、FTSのサイトへアクセスします。 https://support.ts.fujitsu.com/IndexQuickSearchResult.asp?lng=COM&Q=serverview%20installation%20DVD&OpenTab=app	
2. 「Server Management Software」-「ServerView-ServerView Suite CDs/DVDs/ISO-Images」を展開します。 バージョンを確認し、ダウンロードします。	

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（3/21）

FUJITSU

簡略化した操作により導入時のトラブルを未然防止

- ハードディスク（HDD）のRAID構築を自動化

  一般的なHDDのRAID構築は、OSをインストールするサーバーの電源投入時にRAID構築ツール（WebBIOS）を起動して設定します。
  SVIMを利用すると、RAID構築ツールの操作方法を知らなくても、 RAIDの種類・HDDの組み合わせ・スペアディスクの設定など
  簡単な入力操作で自動的にRAIDを構築し、ファイル区分の容量も設定できます。

- 運用に有効な添付ソフトウェアを簡単にインストール

  運用に有効なハードウェア監視ツールや添付ソフトウェアのインストールを支援します。
  ソフトウェア群から選択すると、自動的にインストールされます。

- 最適ドライバーをインストール

  同じハードウェアにもかかわらず、汎用ドライバーやモデル固有のドライバーなどが存在します。
  SVIMはモデルに最適のドライバーを選択しインストールしますので稼働後にトラブルを発生させません。

- ホットフィックスをインストール（Windowsのみ）

  OSインストール後に”致命的な問題”が発生する可能性のあるホットフィックスを適用します。
  これにより、既知の障害発生を防止し安定稼働を図ります。

- リモートでのインストールが可能

  デプロイメントサーバーを利用することで、リモートでPXE*ベースのインストールを行うことができます。
  これにより、DVDドライブがないターゲットサーバーや、複数台のターゲットサーバーに同時にインストールを行うことができます。

*PXE（Preboot eXecution Environment）：サーバーからネットワークを通じて指示を送信し、遠隔のサーバー・クライアントを起動する方式

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（4/21）

FUJITSU

インストール種別

インストール方法	インストールモード	機能概要	使用目的
ローカル インストール	クイックモード	必要最小限の設定を行うだけで、 富士通推奨の状態でOSをインストールできます。	設定する項目が少ないため、素早く簡単にOSを インストールしたい場合に使用します。
	ガイドモード	ウィザードに従って、詳細に設定を指定した インストールができます。	RAIDの構築、パーティションの追加設定、 アプリケーションの取捨選択など詳細な設定を 行いたい場合に使用します。
リモート インストール	ガイドモード	デプロイメントサーバーから SVIMを起動し、 リモートからインストールを行います。 ガイドモードしか選択できません。 複数台へ同時にインストールができます。	以下の場合に選択します。 ・リモートからのインストール ・DVDドライブの使用できないサーバーへの インストール ・複数台のターゲットサーバーへの一斉インストール

© 2023 Fujitsu Limited

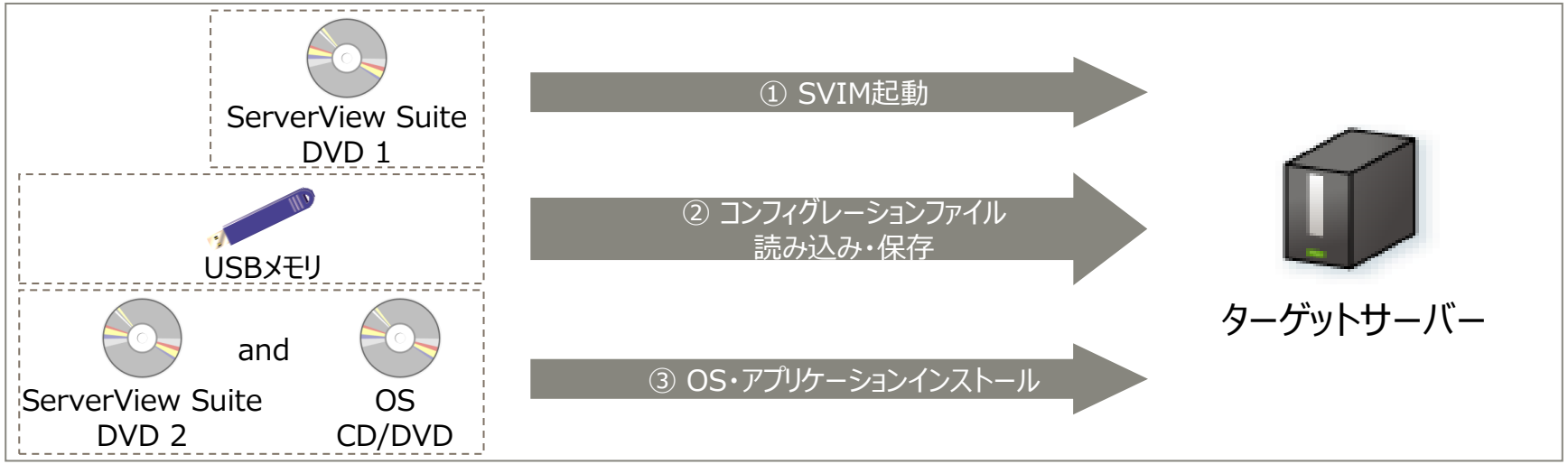
1.2 ServerView Installation Managerとは（5/21）

FUJITSU

ローカルインストールの主な流れ

サーバーのセットアップを支援

- ターゲットシステムで、ServerView Suite DVD 1から SVIMを起動し、インストールを行います。
- サーバー本体に DVD-ROMドライブが搭載されている必要があります。
  ※iRMCの追加オプション製品によるバーチャルメディア機能を使うことで、DVD-ROMドライブは不要となります。
- ローカルインストールには、クイックモードとガイドモードが存在します。



© 2023 Fujitsu Limited

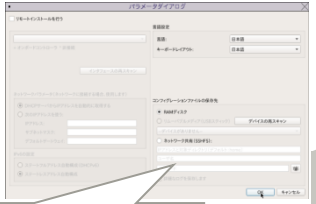
1.2 ServerView Installation Managerとは（6/21）

FUJITSU

クイックモードでのOSインストール

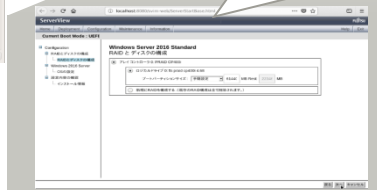
■ クイックモードでは、最小限の設定項目でOSや添付ソフトウェアをインストールします。

① SVIM 起動 → ② コンフィグレーションファイルの作成 → ③ パラメーターの入力 → ④ OS・添付ソフトウェア自動インストール



コンフィグレーションファイルをフロッピーディスク・USBメモリ・RAMに保存

搭載されているディスク数に応じて自動でRAID構成を行うことができます



RAIDとディスクの構成（注1）（注2）

インストールOSの設定

（注1）RAID1アレイタイプを購入して RAID5に変えるなど、ハードディスクを再利用するときには、
不要なパーティション情報やアレイ構成情報が残っていることがあります。
HDD を再利用する場合は、ローレベルフォーマットを行ってから利用してください。

（注2）作成できるパーティションにつきましては、[（ご参考）RAID設定とファイルのパーティションの例]を参照してください。

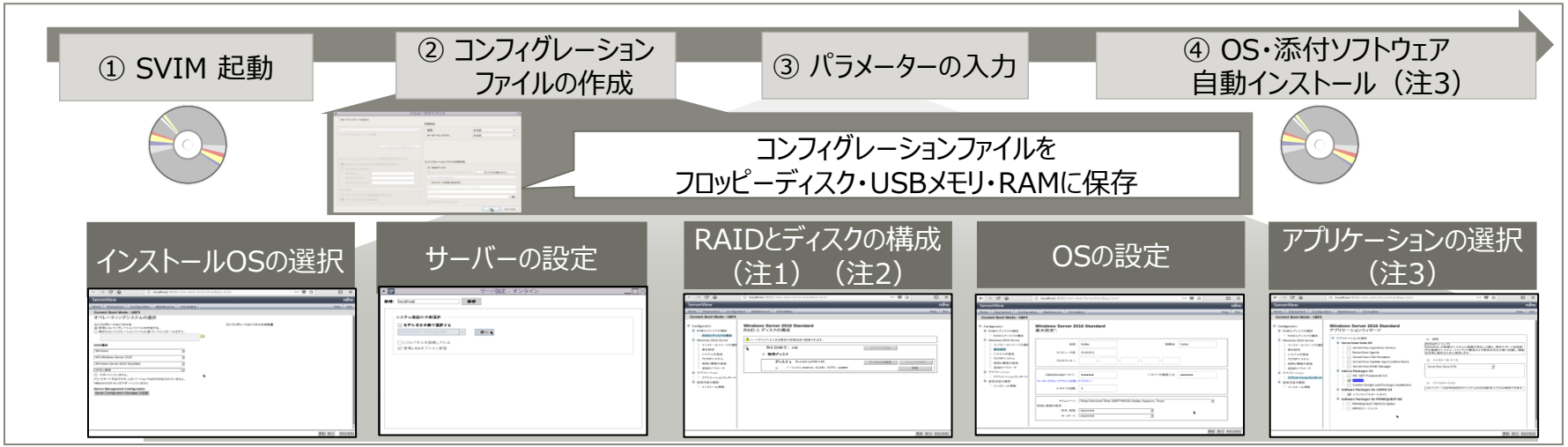
© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（7/21）

FUJITSU

ガイドモードでのOSインストール

- ウィザードに従って、RAIDの設定、ハードディスクの構成やインストールOSを設定します。
- インストールする添付ソフトウェアの選択などをガイドに従って細かく設定します。
- パーティションを複数作成する場合、RAIDやOSの設定を詳細に行いたい場合に選択します。



（注1）RAID1アレイタイプを購入してRAID5に変えるなど、ハードディスクを再利用するときには、不要なパーティション情報やアレイ構成情報が残っていることがあります。HDDを再利用する場合は、ローレベルフォーマットを行ってから利用してください。
（注2）作成できるパーティションにつきましては、[（ご参考）RAID設定とファイルのパーティションの例]を参照してください。
（注3）選択・インストール可能な添付ソフトウェアにつきましては、[（ご参考）ガイドモードで選択できるアプリケーション]を参照してください。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（8/21）

FUJITSU

構築内容でインストールのモードを選択

- 素早く簡単にOSと推奨ソフトウェアをインストールしたい
- 不慣れな人の操作・設定ミスをなくしたい

→ **クイックモード**

設定する項目が少ないため、
素早く簡単にOSを
インストールできます。

- RAIDの構築がしたい、ディスクの設定がしたい
- 同一機種で同一構成のサーバーを複数台購入し、
  コンピュータ名やIPアドレスの値だけ個別に設定したい
- 同じ構成で、再インストールしたい

- Windows ServerをServer Coreインストールしたい
- リモートインストールがしたい
- サーバーやリモートマネジメントコントローラーの設定がしたい
- パーティションを追加したい
- OS・アプリケーションインストールの詳細設定がしたい

→ **ガイドモード**

パーティションの複数作成や
RAID・OS設定を詳細に行う
など詳細な設定を行えます。

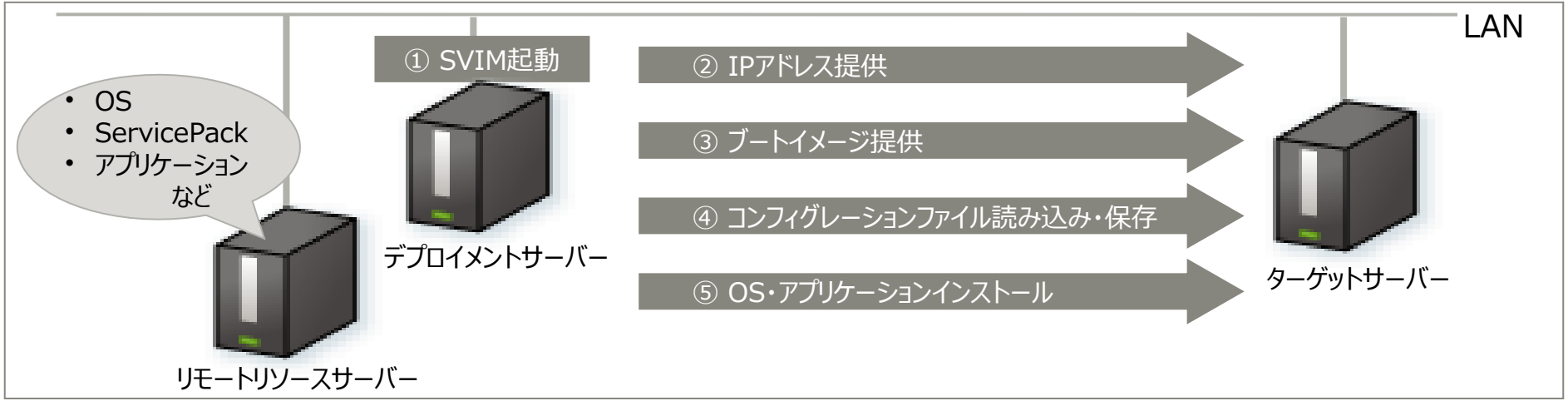
© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（9/21）

FUJITSU

（ご参考）リモートインストール

- ターゲットサーバーをネットワーク起動（PXE）してインストールを行います。
- デプロイメントサーバーにインストールソースを格納、同じリソースを複数台のサーバーへ同時にインストールすることができます。インストールソースは、別途リモートリソースサーバーを構築し格納することも可能です。
- デプロイメントサーバーには、SVIM・PXEサーバー・DHCPサーバーが必要です。（注：SVIM・PXEサーバー・DHCPサーバーは、別筐体上に構築することも可能です。）
- デプロイメントサーバー・リモートリソースサーバーは1台のサーバーに集約できます。



© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（10/21）

FUJITSU

（ご参考）RAID設定とファイルのパーティションの例

- SVIMでは、以下の通りパーティションを作成することができます。
- インストールするOS、ハイパーバイザー、インストールモードによって作成可能なパーティションが異なります。

	Windows		Linux		ESXi	
	クイックモード	ガイドモード	クイックモード	ガイドモード	クイックモード	ガイドモード
最大 パーティション数	1 （固定）	4	3 （固定）	14	1（固定）	1（固定）
パーティション サイズ	以下が選択可能 ● 最小値 （61440MB） （注） ● すべてのディスク ● 手動設定	任意の値	以下3つのパーティションが作成されます。 /boot（1024MB） －xfs swap（auto） －swap /（20,480MB） － xfs	任意の値	以下1つ datastore1 （auto） -vmfs6	以下1つ datastore1 （auto） -vmfs6

使用サーバー RX2530 M6、SVIM V14.21.11にて作成
（注）SVIM版数および Windowsの種類によって、パーティションサイズ最小値（デフォルト）は異なります。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（11/21）

FUJITSU

（ご参考）ガイドモードで選択できるアプリケーション -1

分類	添付ソフトウェア	ガイドモード	
		Windows	RHEL8
ServerView Suite（注）	ServerView Agentless Service	△	△
	ServerView Agents	○	○
	ServerView CIM Providers	△	△
	ServerView Update Agent（online flash）	○	○
	ServerView RAID Manager	○	○
Add-on Packages	DSNAP	○	–
	OSステータス通知機能	–	○
	Custom Scripts and Packages Installation	△	△

○： デフォルト選択 △： デフォルト未選択 ×： 選択不可 –： 項目なし

使用サーバー RX2530 M6、SVIM V14.21.11にて作成

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（12/21）

FUJITSU

（ご参考）ガイドモードで選択できるアプリケーション -2

分類	添付ソフトウェア	ガイドモード	
		Windows	RHEL8
Software Packages for JAPAN	ソフトウェアサポートガイド	○	–
	富士通Linuxサポートパッケージ	–	○
Software Packages for PRIMEQUEST	PRIMEQUEST REMCS Option	×	–
	SIRMSエージェント	×	–
	Dynamic Reconfiguration utility	–	×

○： デフォルト選択 △： デフォルト未選択 ×： 選択不可 –： 項目なし　　使用サーバー RX2530 M6、SVIM V14.21.11にて作成

（注）サーバーの機種や世代、SVIMの版数により、選択可能なアプリケーションまたはデフォルトで選択されているアプリケーションが異なりますのでご注意ください。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（13/21）

FUJITSU

主に以下のOSをインストール可能 -1

- Windows Server 2022（Standard/Datacenter/Essentials）
- Windows Server 2019（Standard/Datacenter/Essentials）
- Windows Server 2016（Standard/Datacenter/Foundation/Essentials）
- Windows Server 2012 R2（Standard/Enterprise/Datacenter/Foundation/HPC Edition）
- Red Hat Enterprise Linux 7.8, 7.9, 8.1, 8.2, 8.3, 8.4, 8.5 （for x64）
- VMware vSphere ESXi 6.5, 6.7, 7.0, 8.0
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1, SP2, SP3

※SVIMとPRIMERGYの、両方でサポートしているOSのみです。最新情報については、次頁のURLからご確認ください。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（14/21）

FUJITSU

主に以下のOSをインストール可能 -2

最新情報については、以下URLからご確認ください。

- PRIMERGYのOS対応一覧

https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/primergy-os/

- PRIMERGY モデル別 サポート OS情報（Windows サポート&サービス）

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/

- VMwareのサポート情報

https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/

- Linux サポート版数一覧表

https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（15/21）

FUJITSU

SVIMの活用

- 出荷時にOSをプレインストールして提供しているものは、セットアップ作業の際にサーバー本体の電源を入れ、画面の案内メッセージに従い作業を進めるだけで、簡単にセットアップが完了します。

- セットアップの失敗やハード故障などでOSを再インストールする必要がある場合でも、簡単なパラメーター入力とOS CD/DVDの交換作業のみで、スムーズかつ簡単にOSの再セットアップを実施する事が出来ます。

- 次のような場合にSVIMをご活用ください。
  - [OSインストールオプション]を適用せず、[OSバンドルオプション]を購入し新規構築する場合
  - すべてのモデルで、ハード障害やその他の理由により、OSを再インストールする場合

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（16/21）

FUJITSU

（ご参考）PRIMERGY手配時の主なOSオプション

オプション名	概要
Windows Server 2022 Standard（16コア）インストール	Windows Server 2022 Standard（16コア）をインストールしているオプション
Windows Server 2022 Standard（16コア/Hyper-V）インストール	Windows Server 2022 Standard（16コア）をインストールし、Hyper-Vの役割を構成しているオプション
Windows Server 2022 Standard Additional License（2コア/4コア/16コア）	物理サーバーが搭載するすべての物理CPUコア数分をカバーする際などに必要
Windows Server 2022 Standard（16コア）バンドル	Windows Server 2022 Standard（16コア）をバンドルするオプション
Windows Server 2022 Datacenter（16コア）バンドル	Windows Server 2022 Datacenter（16コア）をバンドルするオプション

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（17/21）

FUJITSU

SVIMを使用する場合の手順概要

ServerView Suite DVD 1から起動します。

↓

各種パラメーターを入力します。

↓

出力メッセージに従い、DVDを入れ替えます。

手動インストールする場合の手順概要

サーバーの各種ドライバーをインターネットからダウンロードします。

↓

インストールディスクのRAIDを構築します。

↓

[Windows Server 2022]のDVDから起動します。

↓

SASコントローラーのドライバーをロードします。

↓

ウィザードに従い、各種パラメーターを入力します。

↓

各種ドライバーをインストールします。

↓

ServerView Suite製品群/高信頼性ツールをインストールします。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（18/21）

FUJITSU

OSインストール前の留意事項 -1

- BIOS/iRMCファームウェアのアップデート
  BIOS/iRMCのファームウェアのアップデートはOSインストール前に行います。
  ファームウェアをアップデートする場合、下記のURLを参照します。
  http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/bios/

- DVD-ROMブートが可能であること
  本体BIOSの設定で、DVD-ROMブートが可能であることを確認してください。

- 再起動時の注意
  インストールの途中でセットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示しますが、
  自動的に再起動するのを待ってください。

- SASアレイコントローラーカードの接続・設定確認
  OSをインストールする前に、SASアレイコントローラーカードのコンフィグレーションが終了している必要があります。
  また、SASアレイコントローラー配下のシステムドライブの初期化が終了/バックグラウンド初期化中である必要があります。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（19/21）

FUJITSU

OSインストール前の留意事項 -2

- 無停電電源装置（UPS）接続時の注意事項
  UPSの信号ケーブルは、Windows Serverのインストールが終了後、電源管理ソフトウェア（PowerChute Business Editionエージェント）をインストールする際に接続してください。
  接続されたUPSがシリアルマウスと誤認識され、UPSと通信することができなくなることがあります。

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（20/21）

FUJITSU

インストール方法の選択

- SVIMを使用したOSのインストール時、次の2つのインストール方法が選択できます。
  それぞれのメリットや目的に応じて使い分けてください。

インストール方法	機能概要	目的
ローカル インストール	ローカルにOSのインストールを行います。 クイックモード・ガイドモードが選択できます。	DVDからローカルへインストールを行う場合に 選択します。
リモート インストール	デプロイメントサーバーからSVIMを起動し、 リモートからインストールを行います。 ガイドモードしか選択できません。 最大5台まで同時にインストールができます。	以下の場合に選択します。 • リモートからのインストール • 複数台のターゲットサーバーへの同時インストール

© 2023 Fujitsu Limited

1.2 ServerView Installation Managerとは（21/21）

FUJITSU

インストール全体の流れ

ローカルインストール

クイックモード選択

- コンフィグレーションファイルの作成・選択
- OSの選択
- RAIDとディスクの構成
- OSの基本設定
- OS・添付ソフトウェアの自動インストール開始

ガイドモード選択

- コンフィグレーションファイルの作成・選択
- OSの選択
- サーバー設定ウィザード ※オプション
- RAIDとディスクの構成
- OSの詳細設定
- アプリケーション選択
- OS・添付ソフトウェアの自動インストール開始

リモートインストール

- デプロイメントサーバーからターゲットサーバーへIPアドレス提供
- デプロイメントサーバーからターゲットサーバーへブートイメージ提供
- ターゲットサーバーでSVIM起動
- ※以降[ガイドモード選択]の流れと同じ

© 2023 Fujitsu Limited

2. OSインストール

2.1 SVIMの起動

2.2 ガイドモード

2.3 クイックモード

© 2023 Fujitsu Limited

【事前学習】2.1 SVIMの起動

OSのインストール方法

ServerView Installation Managerは、OSおよびその他のサーバー管理ソフトウェアやアプリケーションなどを事前に設定し、インストールするコンポーネントです。ServerView Suite DVD（注1）をインストール対象サーバーで起動します。
本項の手順は、Windows OSのインストール手順を想定し、管理コンソール用PCから操作を行います。

（注1）ServerView Installation Managerのダウンロード：
https://support.ts.fujitsu.com/IndexQuickSearchResult.asp?lng=COM&Q=serverview%20installation%20DVD&OpenTab=app
詳細は、「（ご参考）ServerView Suite DVDのダウンロード」ページをご参照ください。

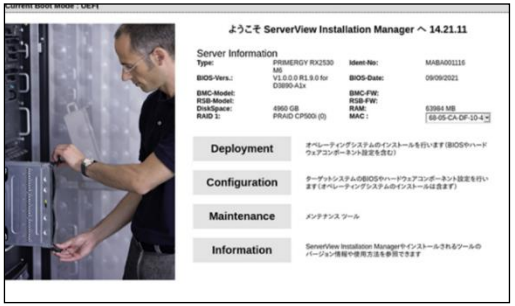
ServerView Installation Manager 概要図

① ServerView SuiteのDVDを用意

② ServerView Installation Managerを起動し、ウィザードに従って設定

【インストール対象サーバー】

【ServerView Installation Manager】



© 2023 Fujitsu Limited

2.1 SVIMの起動（1/4）

SVIMの起動 -1

1. [F12]キーを押します。

サーバーに「ServerView Suite DVD 1」をセットし、
起動途中で[F12]キーを押します。
サーバーの機種によって起動デバイスを呼び出すキーが
異なる場合があります。あらかじめマニュアルを参照してください。

SVIMの起動 -2

2. [↓]キーを押します。

[UEFI Fujitsu Virtual CDROM0 1:00]
まで[↓]キーで移動します。

© 2023 Fujitsu Limited

2.1 SVIMの起動（2/4）

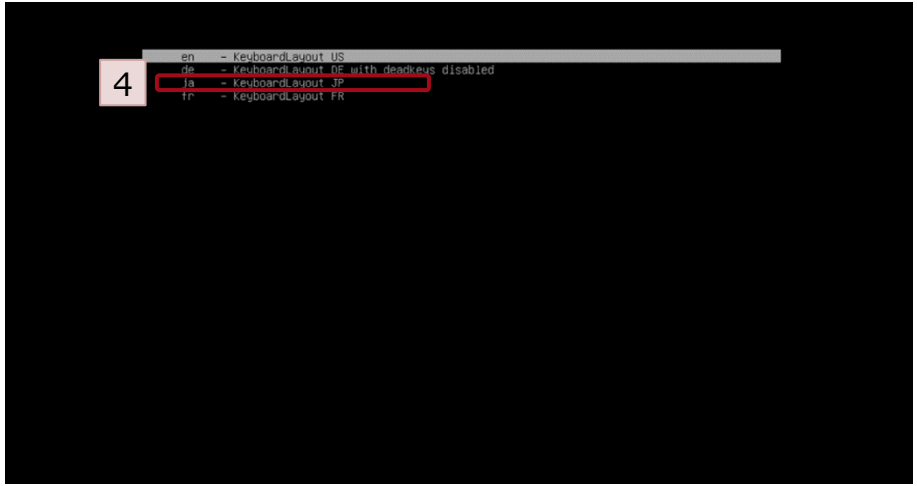
FUJITSU

SVIMの起動 -3

3. [Enter]キーを押します。

DVDドライブを選択した状態で、[Enter]キーを押します。

SVIMの起動 -4



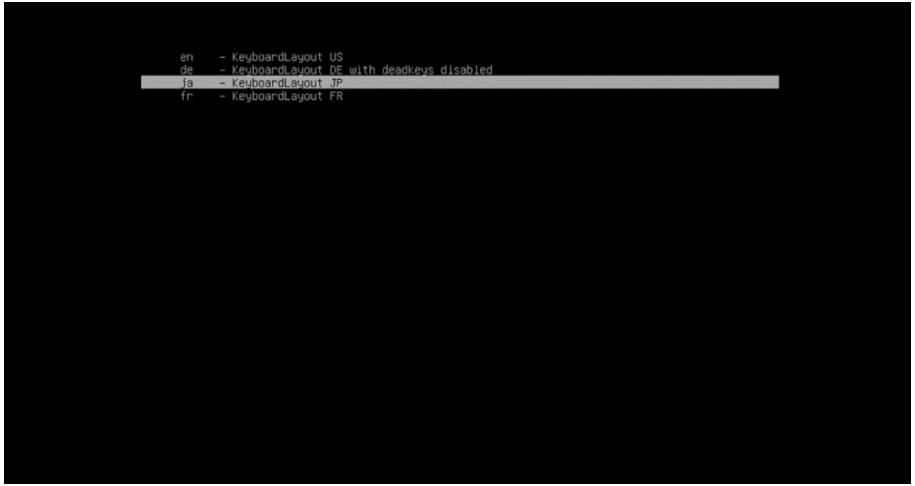
4. [↓]キーを押します。

キーボードレイアウトを選択します。
[ja - KeyboardLayout JP]まで[↓]キーで移動します。

© 2023 Fujitsu Limited

2.1 SVIMの起動（3/4）

SVIMの起動 -5



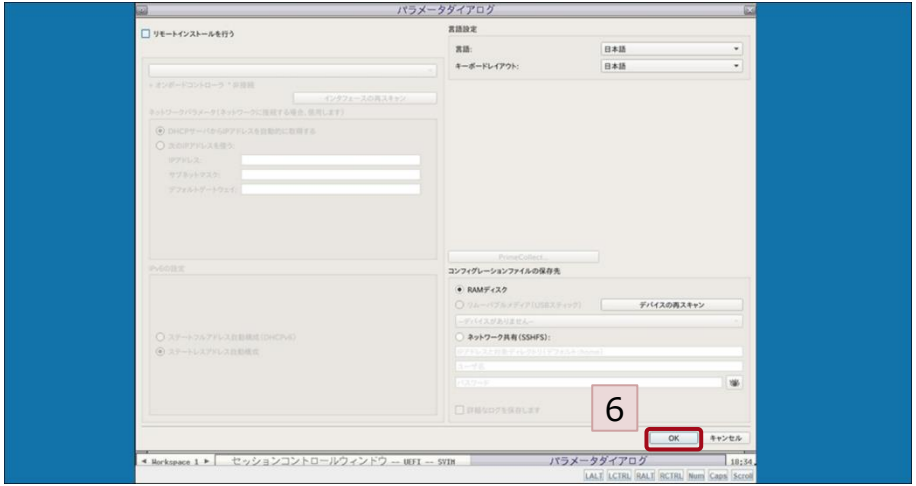
5. [Enter]キーを押します。

[ja - KeyboardLayout JP]を選択した状態で、
[Enter]キーを押します。

© 2023 Fujitsu Limited

2.1 SVIMの起動（4/4）

SVIMの起動 -6



6. [OK]をクリックします。

ServerView Installation Managerを利用するための設定をします。
設定値を確認してから[OK]をクリックしてください。
言語設定：日本語（デフォルト）
キーボードレイアウト：日本語（デフォルト）

コンフィグレーションファイルの保存先：
コンフィグレーションファイルの保存先を選択します。

■ [ネットワーク共有パス]：
ネットワーク上のドライブに保存できます。
アクセス可能なパス・ユーザ名・パスワードを指定します。

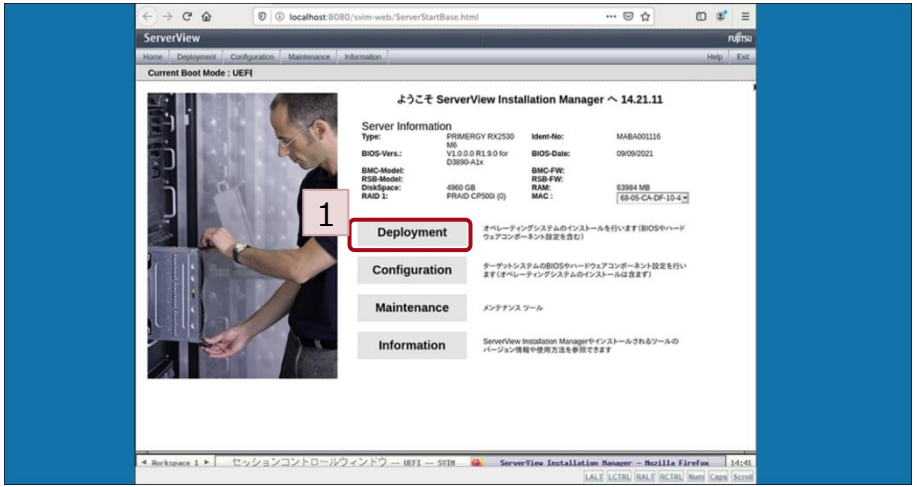
■ [RAMディスク]：
セットアップ完了後のコンフィグレーションファイルが
不要な場合に選択します。セットアップ完了後、
コンフィグレーションデータは削除、復元することはできません。

■ [リムーバブルメディア（USB スティック）]：
[デバイスの再スキャン]をクリックすることで、
USBスティックが認識されます。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（1/15）

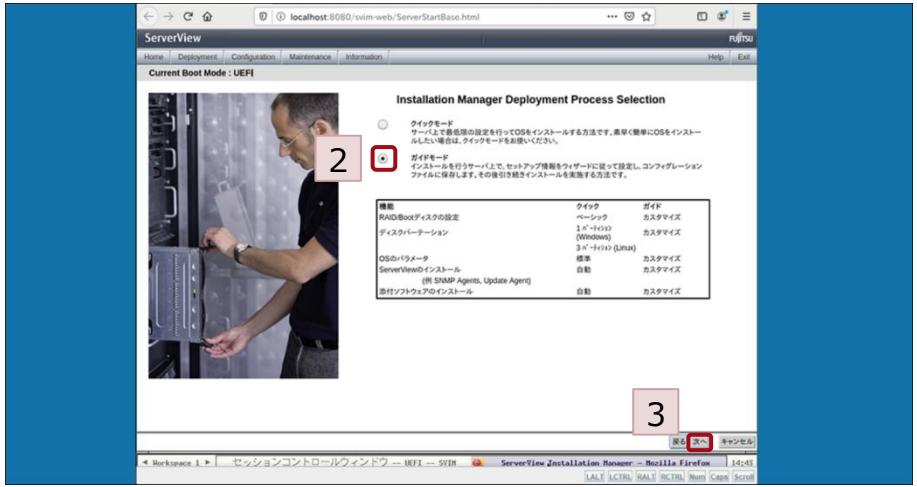
ガイドモード -1



1. [Deployment]をクリックします。

OSのインストールと各種コンポーネントの設定ができる
[Deployment]を選択します。

ガイドモード -2



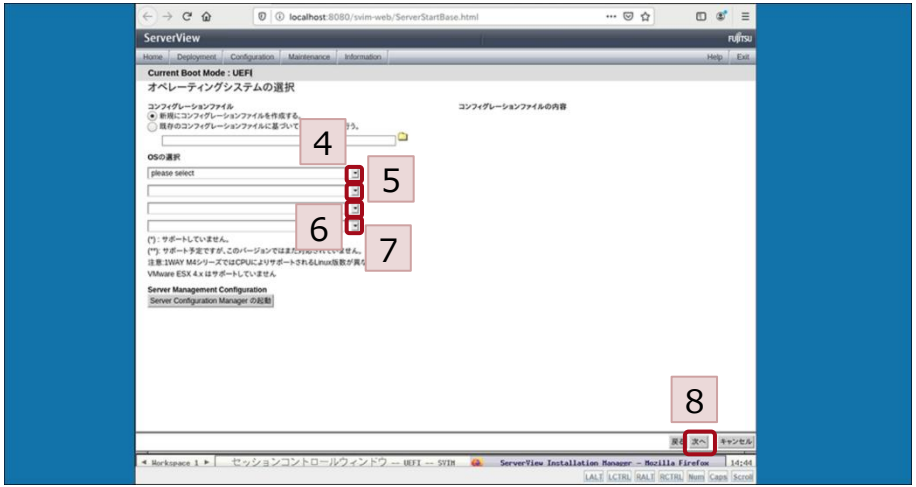
2. [ガイドモード]を選択します。
3. [次へ]をクリックします。

インストールするアプリケーションを選択するため、「ガイドモード」を
選択します。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（2/15）

ガイドモード -3



4. プルダウンから、適切な値を選択します。
5. プルダウンから、適切な値を選択します。
6. プルダウンから、適切な値を選択します。
7. プルダウンから、適切な値を選択します。
8. [次へ]をクリックします。

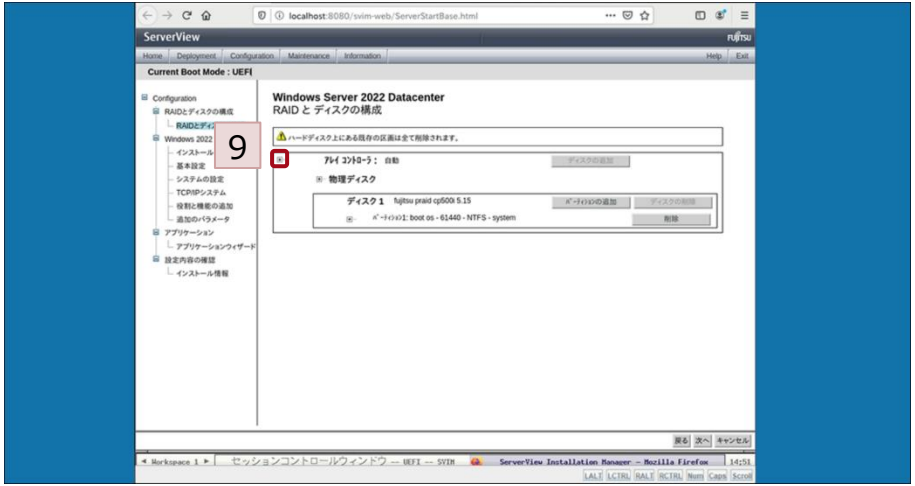
本資料では、下記の情報を入力します。
OSの選択：Windows
MS Windows Server 2022
Windows Server 2022 Datacenter
SPなし媒体

＊本資料では[新規コンフィグレーションファイルを作成する]（デフォルト値）を使用していますが、既存のコンフィグレーションファイルを指定し、編集することも可能です。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（3/15）

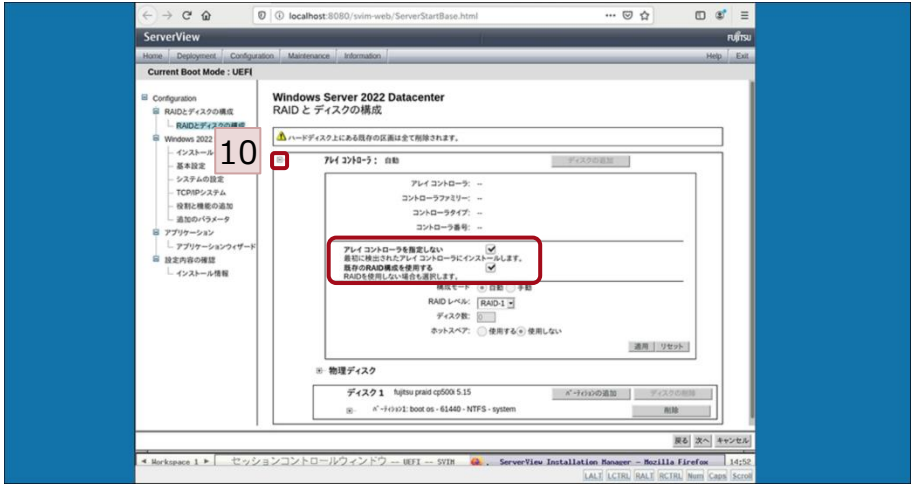
ガイドモード -4



9. [+]をクリックします。

[アレイコントローラ]の文字の左にある[+]をクリックして展開します。

ガイドモード -5



10. [-]をクリックします。

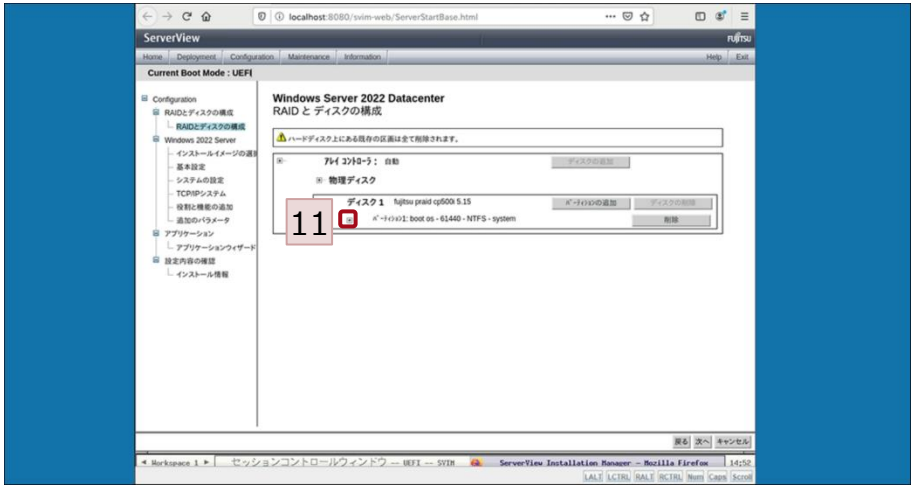
[アレイコントローラを指定しない]がチェックされていることを確認します。
本資料では、既存のRAIDをそのまま使用するため、
[既存のRAID構成を使用する]がチェックされていることを確認します。
確認後、[-]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（4/15）

FUJITSU

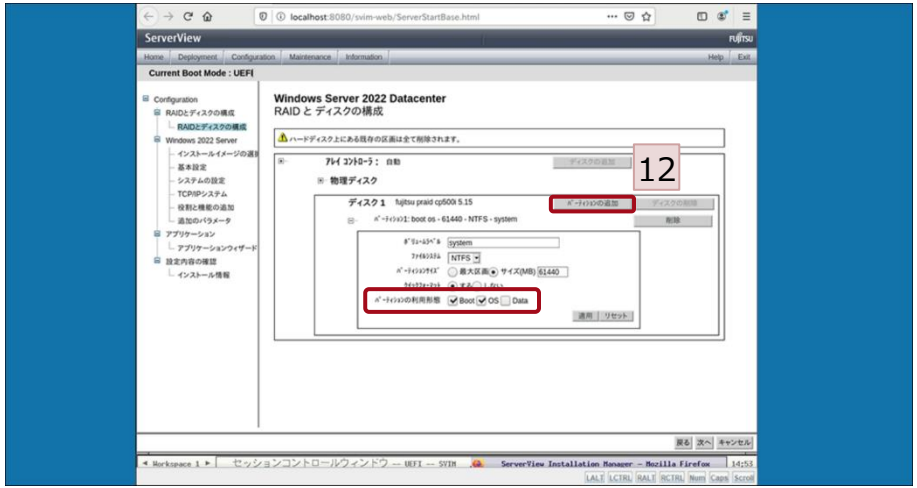
ガイドモード -6



11. [+]をクリックします。

[パーティション1]の文字の左にある[+]をクリックして展開します。

ガイドモード -7



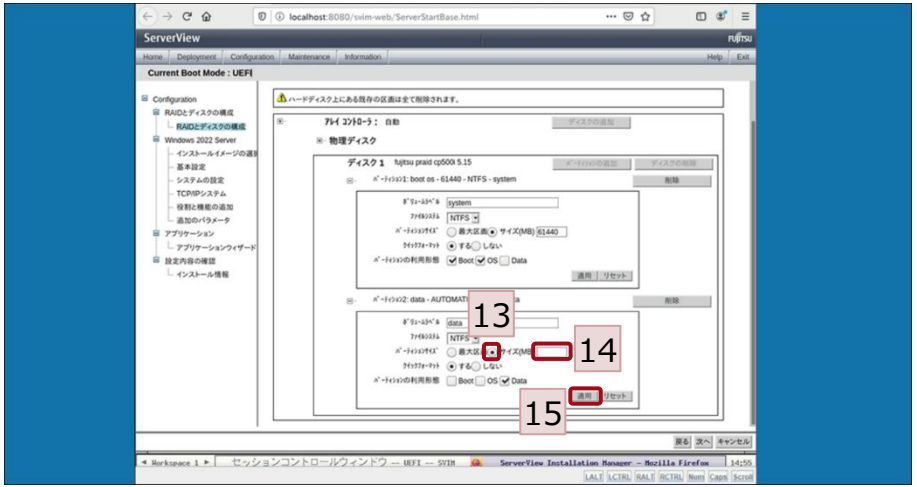
12. [パーティションの追加]をクリックします。

下記2点から[パーティション1]がシステムドライブとされているか確認します。
■ ボリュームラベル: [system]
■ パーティションの利用形態: [Boot]と[OS]
本資料では、もう一つドライブ（データ保存用ドライブ）を作成します。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（5/15）

ガイドモード -8



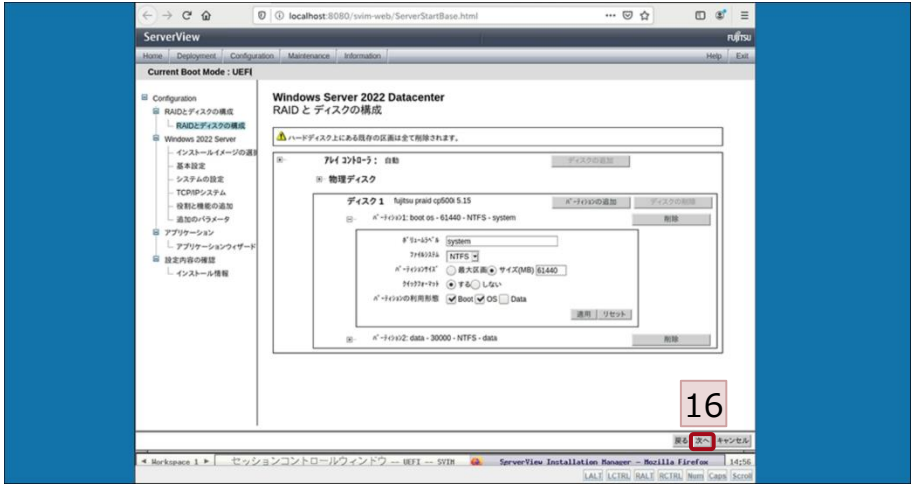
13. [サイズ（MB）]を選択します。
14. [パーティションサイズ]を入力します。
15. [適用]をクリックします。

本資料では、下記の情報を入力します。
ボリュームラベル：data（デフォルト）
ファイルシステム：NTFS（デフォルト）
パーティションサイズ：[サイズ（MB）]を選択し、[30000]に変更
クイックフォーマット：する（デフォルト）
パーティションの利用形態：Data（デフォルト）

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（6/15）

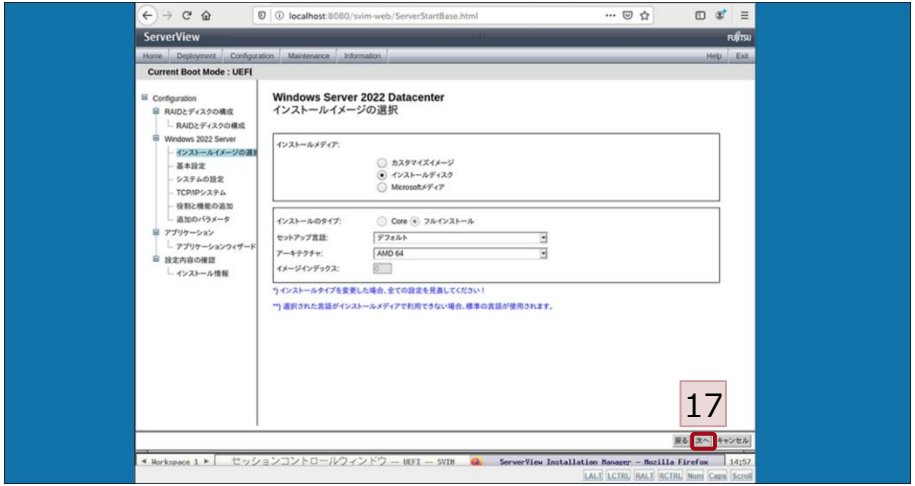
ガイドモード -9



16. [次へ]をクリックします。

ここまででRAIDとディスクの構成の設定ウィザードは終了です。

ガイドモード -10



17. [次へ]をクリックします。

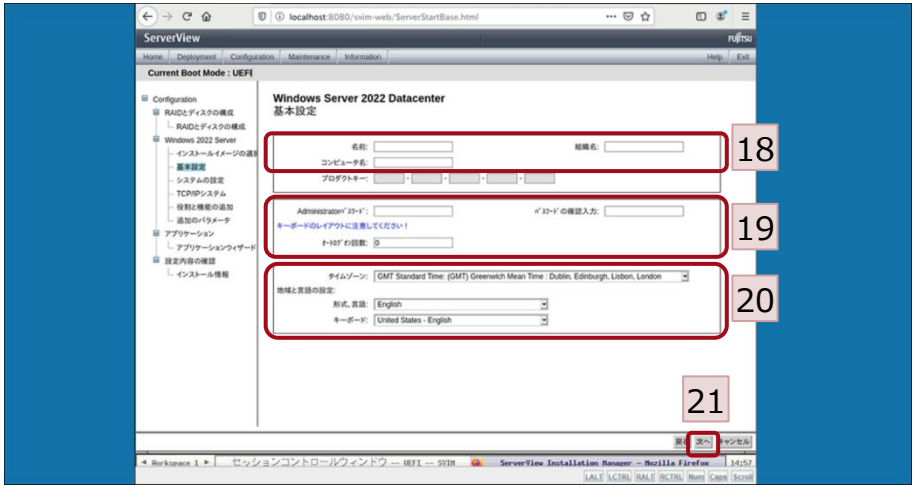
本資料では、インストールメディアは[インストールディスク]を使用します。

カスタマイズイメージ	カスタムイメージDVDまたはISOイメージを使用
インストールディスク	富士通独自のツールやドライバを収録したOEM版のCD/DVD
Microsoftメディア	Microsoftオリジナルのインストールメディア

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（7/15）

ガイドモード -11



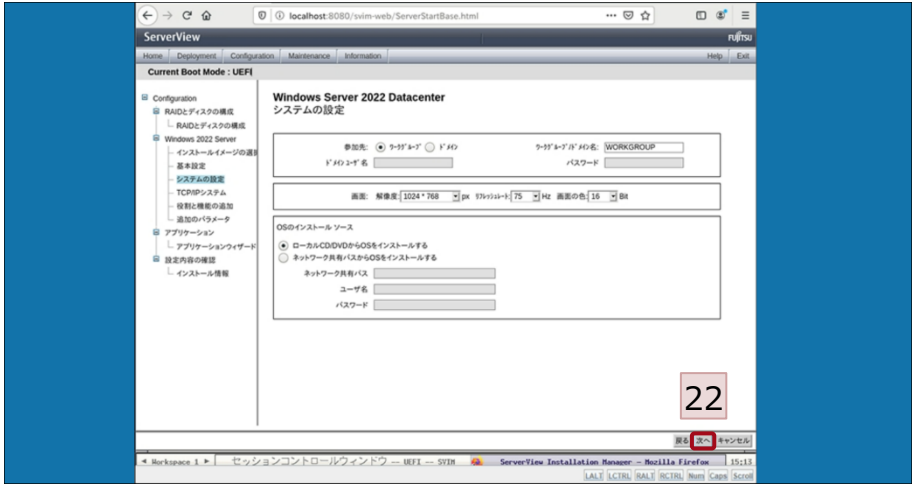
18. [名前]、[組織名]、[コンピュータ名]を入力します。
19. [Administratorパスワード]、[パスワードの確認入力]、[オートログオン回数]を入力します。
20. [タイムゾーン]、[形式、言語]、[キーボード]を選択します。
21. [次へ]をクリックします。

本資料では、下記の情報を入力・選択します。
名前：fujitsu
組織名：fujitsu
コンピュータ名：2022SV1
Administratorパスワード：Pass123
パスワードの確認入力：Pass123
オートログオン回数：1
タイムゾーン：Tokyo Standard Time: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
形式、言語：Japanese
キーボード：Japanese

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（8/15）

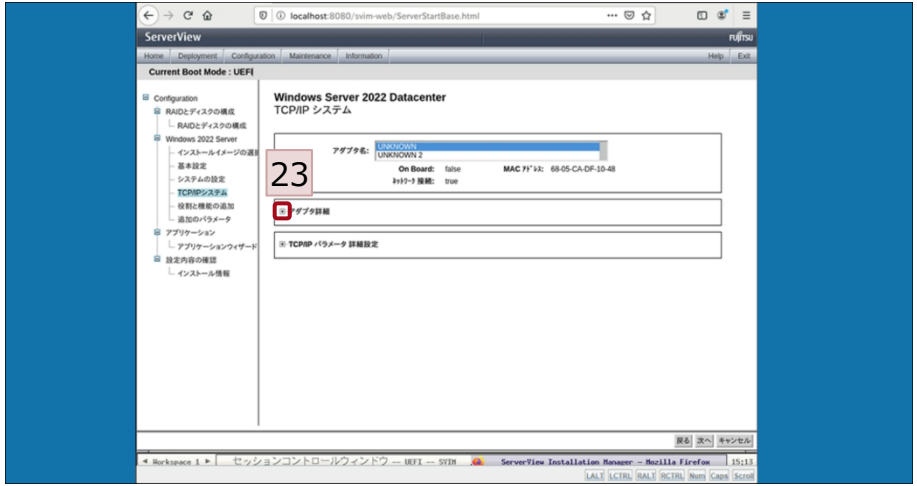
ガイドモード -12



22. [次へ]をクリックします。

インストール対象サーバーの所属グループ、解像度、またはOSの
インストールソースを指定します。
ワークグループ/ドメイン名：WORKGROUP（デフォルト）
ローカルCD/DVDドライブからOSをインストールする（デフォルト）

ガイドモード -13



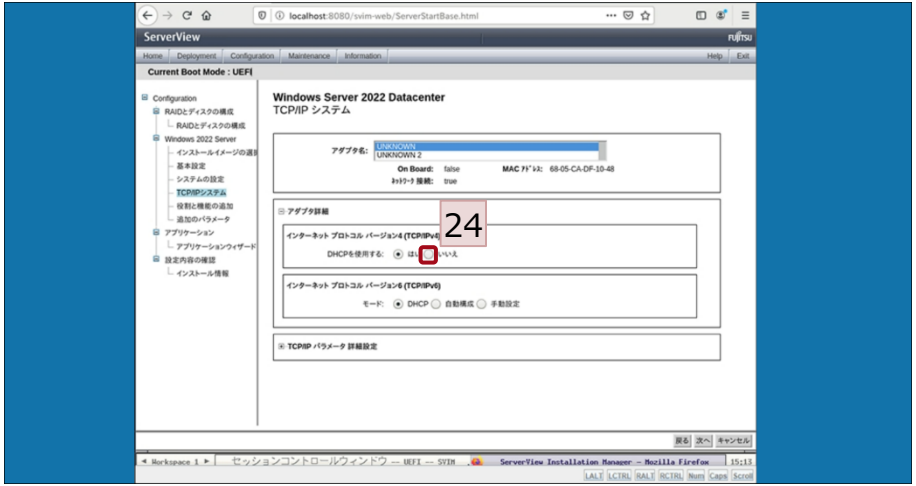
23.アダプタ詳細の[+]をクリックします。

インストール対象サーバーのネットワークカードが通信できるように、
TCP/IPプロトコルを設定します。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（9/15）

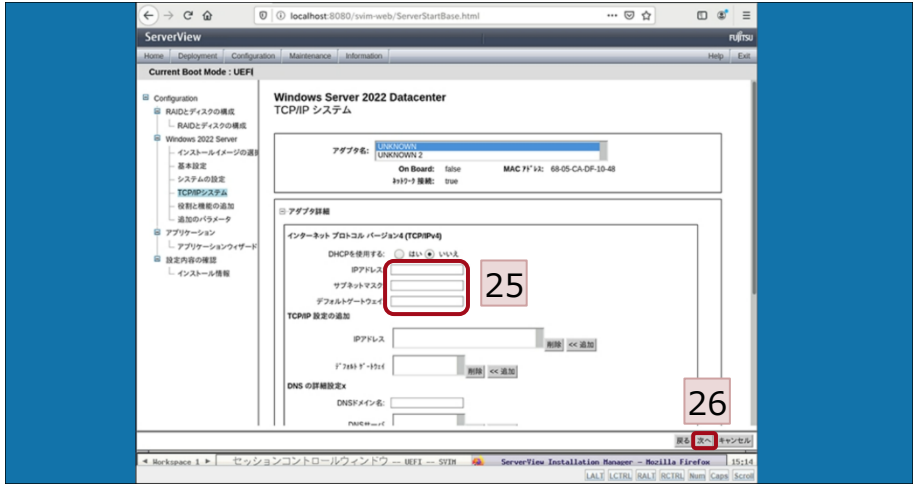
ガイドモード -14



24. [いいえ]を選択します。

本資料では、下記の情報を選択します。
DHCPを使用する：いいえ
＊[インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）]で設定します。

ガイドモード -15



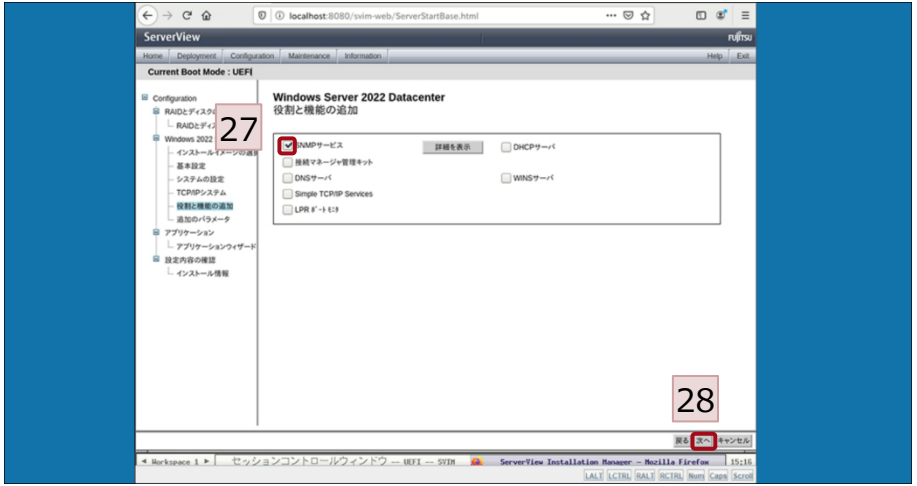
25. [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を入力します。
26. [次へ]をクリックします。

本資料では、下記の情報を入力します。
IPアドレス：192.168.100.241
サブネットマスク：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：192.168.100.1

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（10/15）

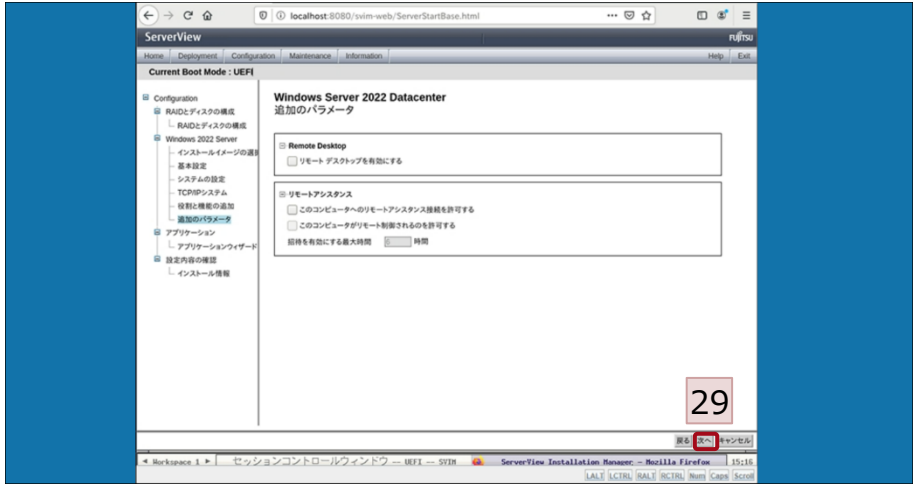
ガイドモード -16



27. [SNMPサービス]のチェックを外します。
28. [次へ]をクリックします。

役割と機能の追加画面では、デフォルトで[SNMPサービス]にチェックが入っていますが、本資料では使用しない機能のため、チェックを外します。
※必要に応じてチェックを入れたままにしてください。

ガイドモード -17



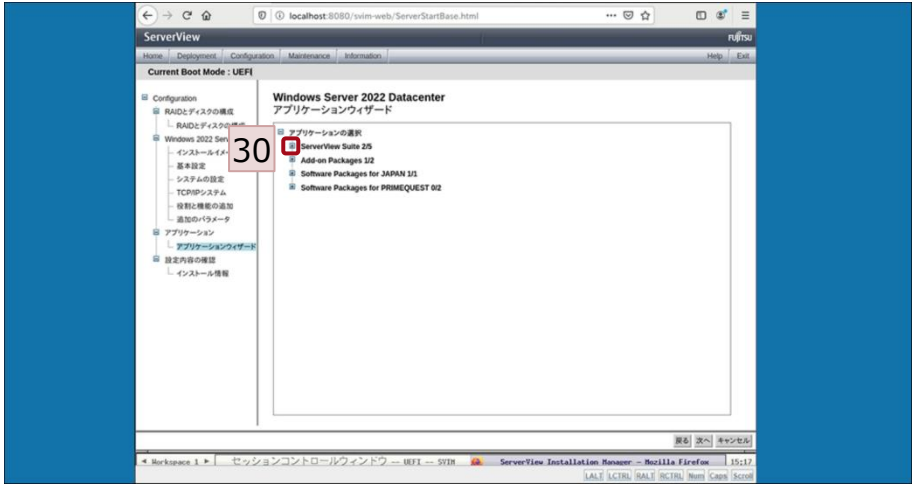
29. [次へ]をクリックします。

ここまでで、OS（Windows Server 2022 Datacenter）の詳細設定ウィザードは終了です。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（11/15）

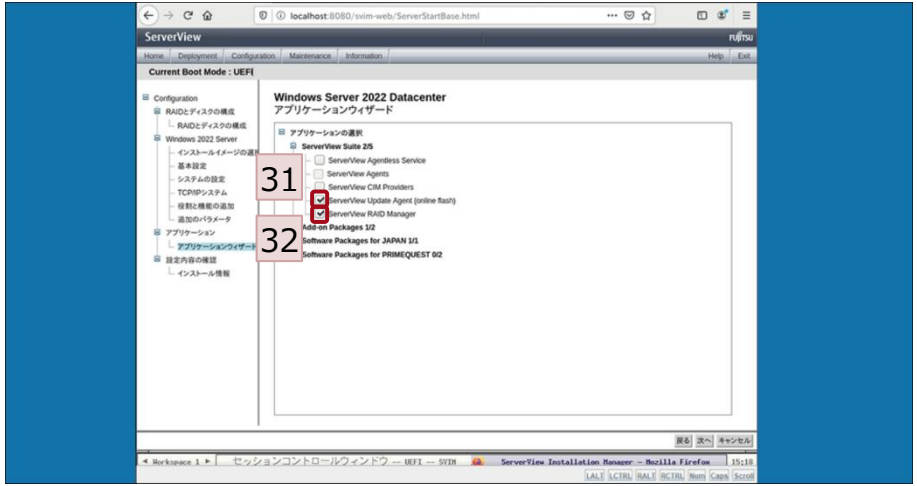
ガイドモード -18



30. [ServerView Suite]の[＋]をクリックします。

ServerView Installation Managerがインストールするアプリケーションを選択できます。

ガイドモード -19



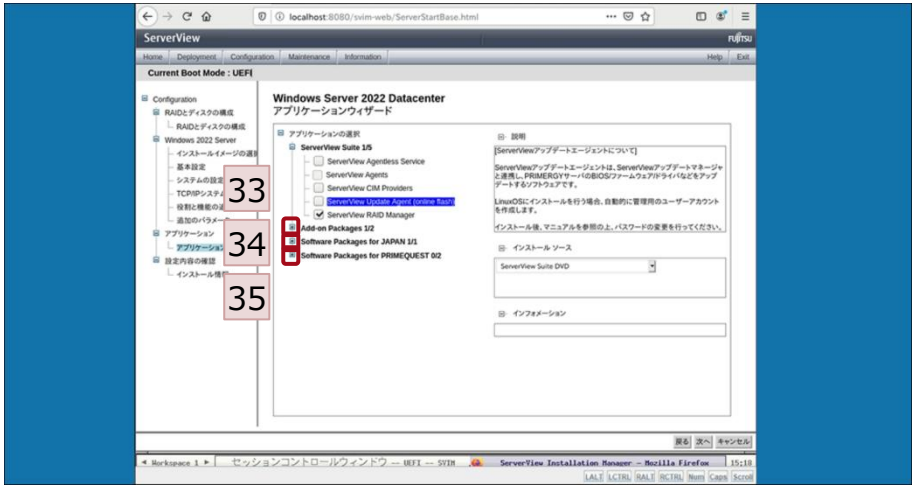
31. [ServerView Update Agent（online flash）]のチェックを外します。
32. [ServerView RAID Manager]のチェックを外します。

本資料では、OSインストール時にServerView Update AgentやServerView RAID Managerをインストールせずに進めます。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（12/15）

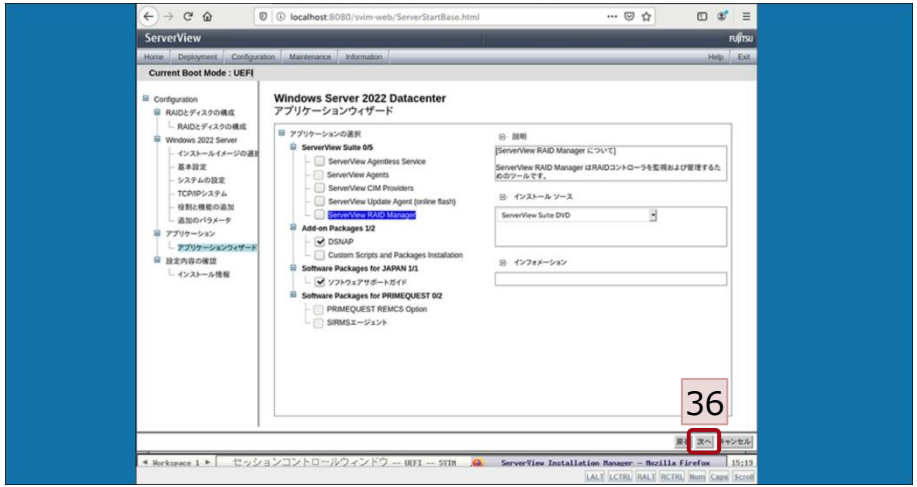
ガイドモード -20



33. [Add-on Packages]の[＋]をクリックします。
34. [Software Packages for JAPAN]の[＋]をクリックします。
35. [Software Packages for PRIMEQUEST]の
    [＋]をクリックします。

その他の[＋]を展開し、インストールされるアプリケーションを確認します。

ガイドモード -21

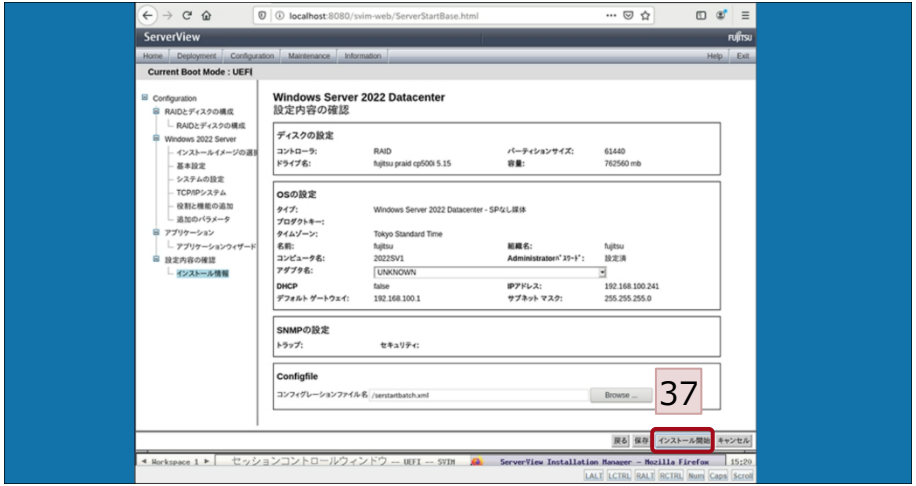


36．[次へ]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（13/15）

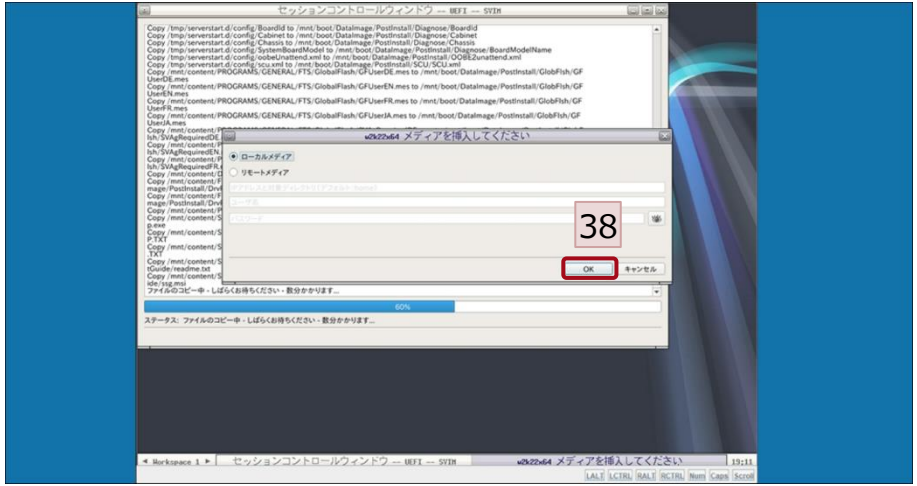
ガイドモード -22



37. [インストール開始]をクリックします。

これまで設定したOS等の設定内容を確認します。
アダプタ名の選択を変更することで、各アダプタの設定を確認できます。
インストール開始前に、パラメーターをコンフィグレーションファイルとして保存することができます。

ガイドモード -23



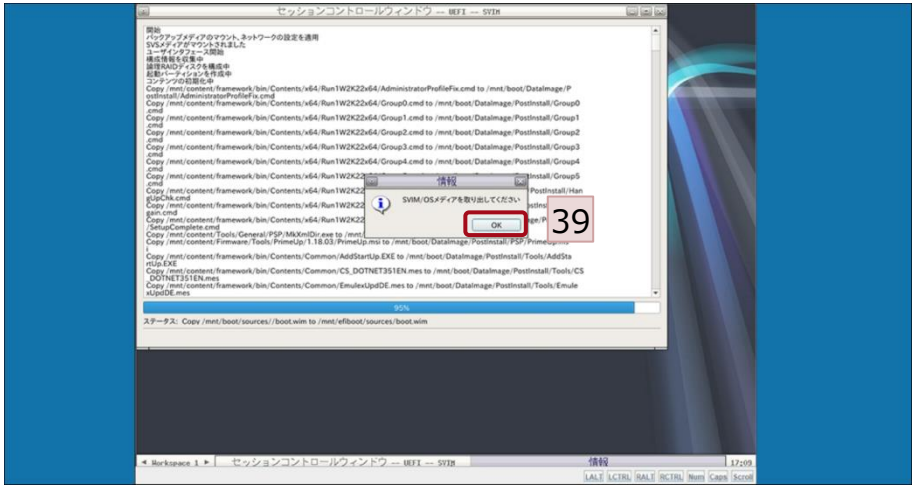
38. [OK]をクリックします。

自動インストールが開始されます。
ローカルのDVDドライブにOSインストール媒体を挿入する必要があります。
＊リモートメディアからインストールする場合は、ネットワークドライブのパスと、それにアクセスできる権限のユーザー名とパスワードを指定します。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（14/15）

ガイドモード -24



39. [OK]をクリックします。

挿入されているOSのDVDを取り出し、[OK]をクリックすると
自動的にサーバーが再起動し、インストール処理を再開します。

ガイドモード -25

40. 自動でインストールが進行します。

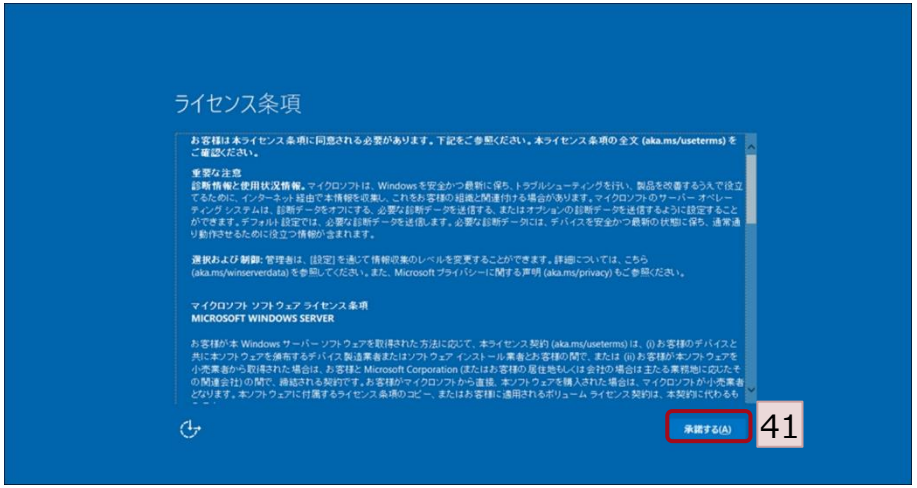
インストールにかかる時間は環境によって異なりますが、約1時間ほど
かかります。

© 2023 Fujitsu Limited

2.2 ガイドモード（15/15）

FUJITSU

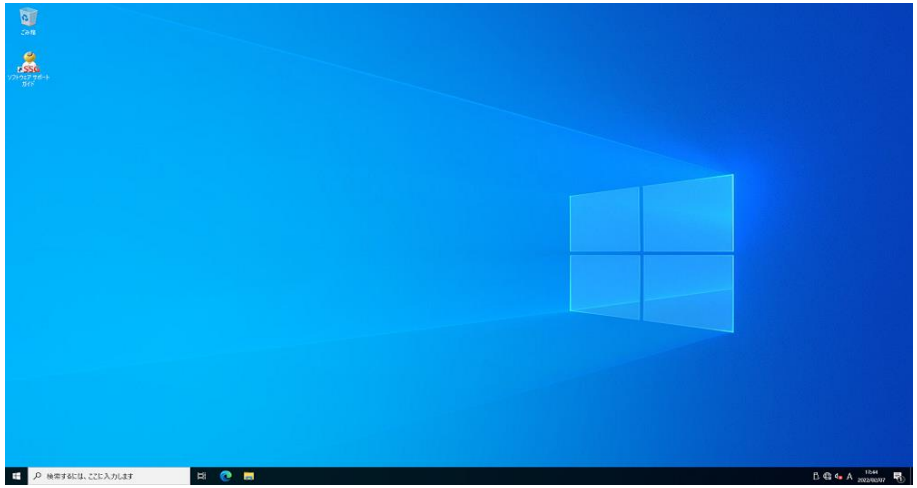
ガイドモード -26



41. [承諾する]をクリックします。

ライセンス条項を確認し、[承諾する]をクリックします。

ガイドモード -27

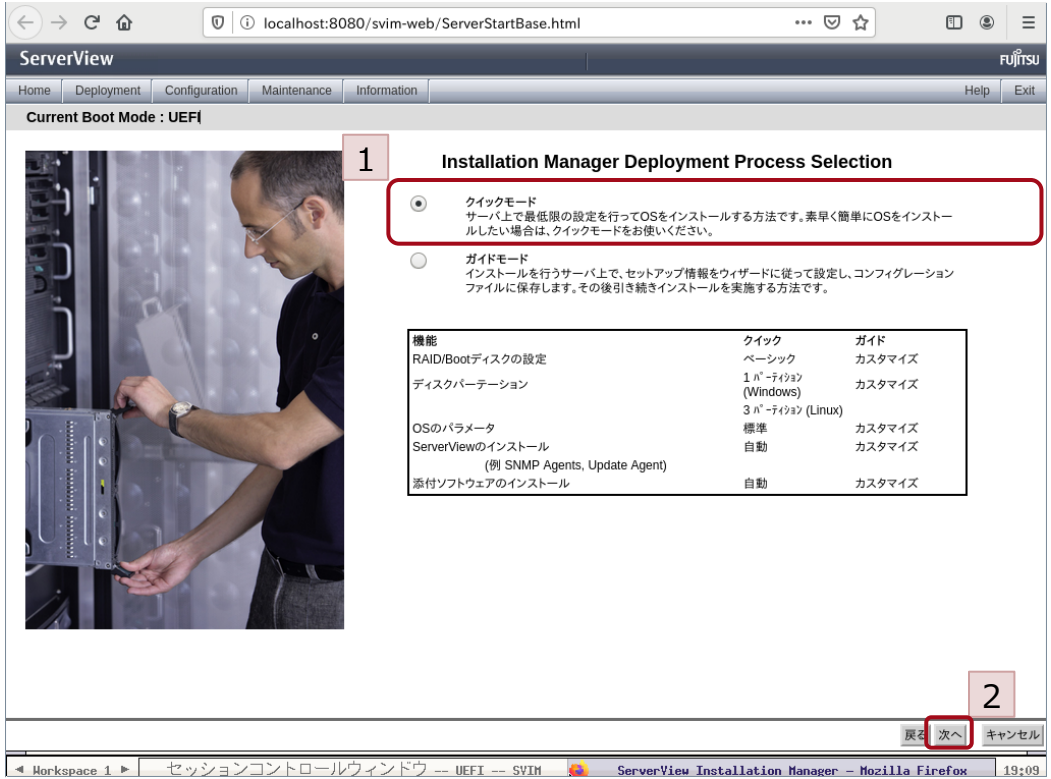


OSが正常にインストールされ、自動でログインした状態となります。

© 2023 Fujitsu Limited

2.3 クイックモード（1/5）

クイックモード -1



ここからはご参考として、クイックモードでのOSインストール手順を記載しています。

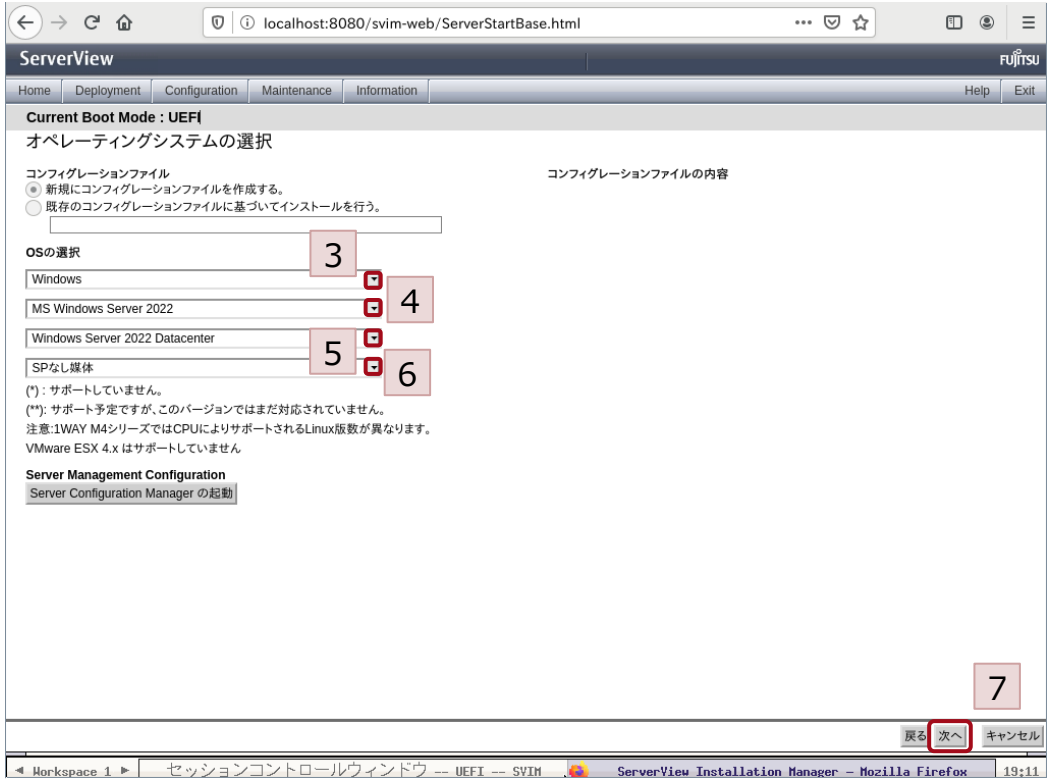
1. クイックモードを選択します。

2. [次へ]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

2.3 クイックモード（2/5）

クイックモード -2



3. プルダウンから、適切な値を選択します。

4. プルダウンから、適切な値を選択します。

5. プルダウンから、適切な値を選択します。

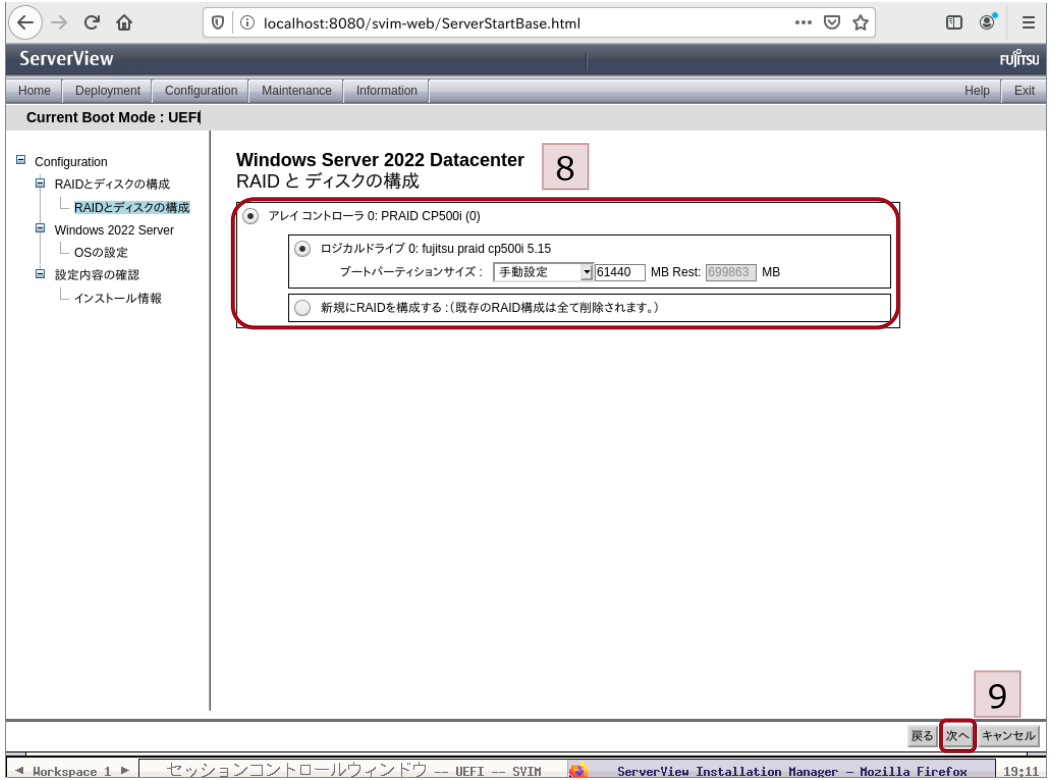
6. プルダウンから、適切な値を選択します。

7. [次へ]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

2.3 クイックモード（3/5）

クイックモード -3



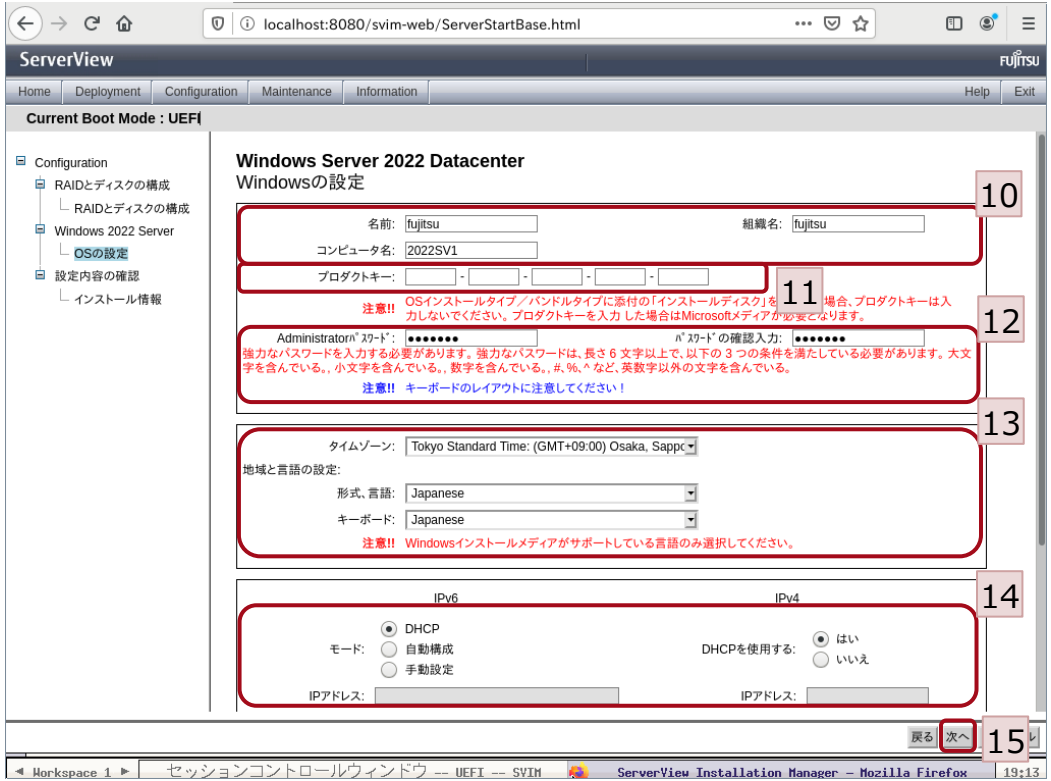
8. 既存のRAID構成を使用するか、新規にRAIDを構築するか選択します。

9. [次へ]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

2.3 クイックモード（4/5）

クイックモード -4

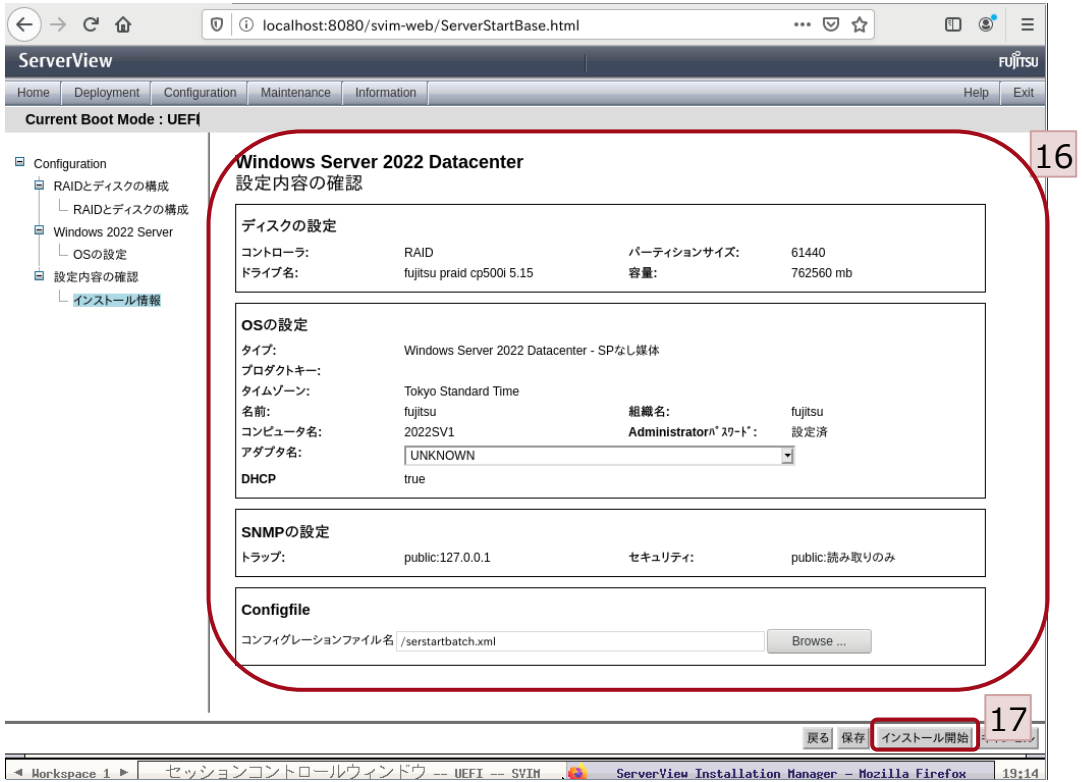


10. 名前・組織名、コンピュータ名を入力します。
11. 必要に応じて、プロダクトキーを入力します。
12. Administratorのパスワードを入力します。
13. プルダウンから、適切な値を選択します。
14. ネットワーク情報を入力します。
15. [次へ]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

2.3 クイックモード（5/5）

クイックモード -5



16. 設定内容を確認します。

17. [インストール開始]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

3. OSインストール後の設定

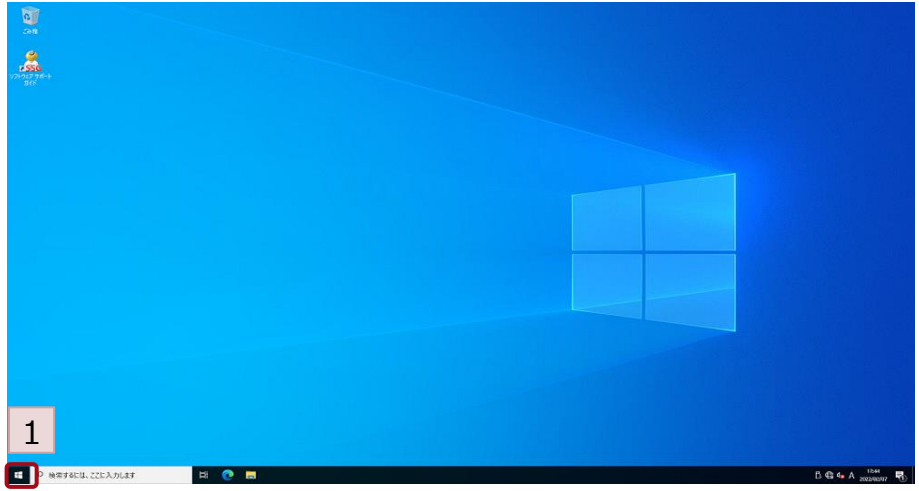
3.1 OSインストール後の設定（WS）

© 2023 Fujitsu Limited

3.1 OSインストール後の設定（WS）（1/4）

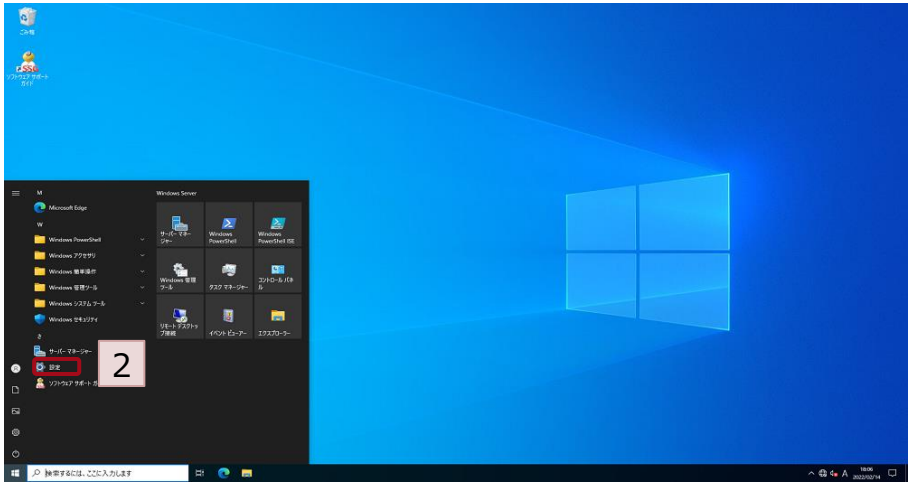
FUJITSU

キーボードレイアウトの確認 -1



1. スタートボタンをクリックします。

キーボードレイアウトの確認 -2



2. [設定]をクリックします。

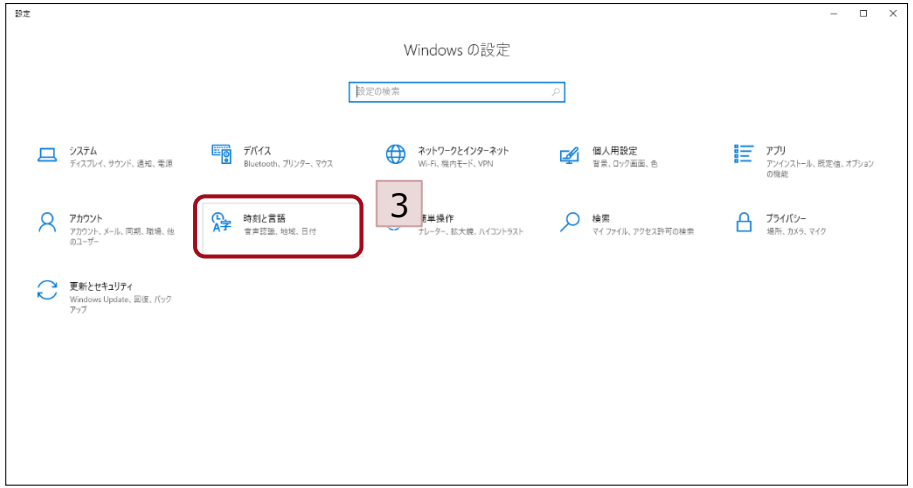
Windows全般において、OSインストール時に日本語キーボードを選択した場合でも、インストール後にキーボード配列が英語に変わる場合があるため、キーボードレイアウトを確認します。

© 2023 Fujitsu Limited

3.1 OSインストール後の設定（WS）（2/4）

FUJITSU

キーボードレイアウトの確認 -3



3. [時刻と言語]をクリックします。

キーボードレイアウトの確認 -4

4. [言語]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

3.1 OSインストール後の設定（WS）（3/4）

FUJITSU

キーボードレイアウトの確認 -5

5. [日本語]をクリックします。

キーボードレイアウトの確認 -6

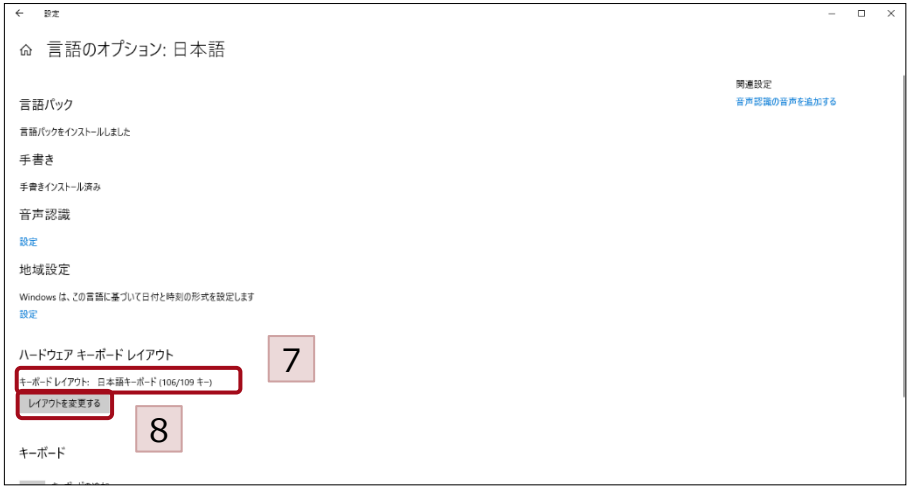
6. [オプション]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

3.1 OSインストール後の設定（WS）（4/4）

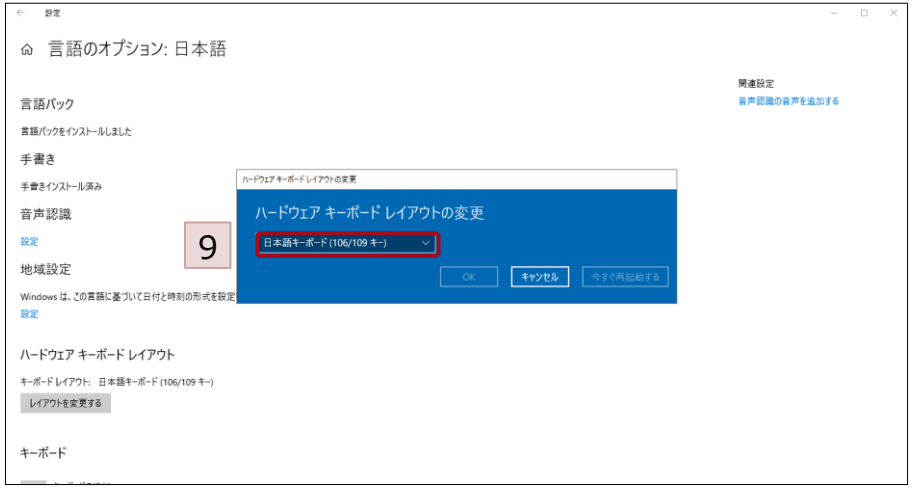
FUJITSU

キーボードレイアウトの確認 -7



7. [ハードウェア キーボード レイアウト]を確認します。
8. [レイアウトを変更する]をクリックします。

キーボードレイアウトの確認 -8



9. [ハードウェア キーボード レイアウトの変更]を確認します。

プルダウンから、キーボードレイアウトを変更することができます。

© 2023 Fujitsu Limited

4. （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能

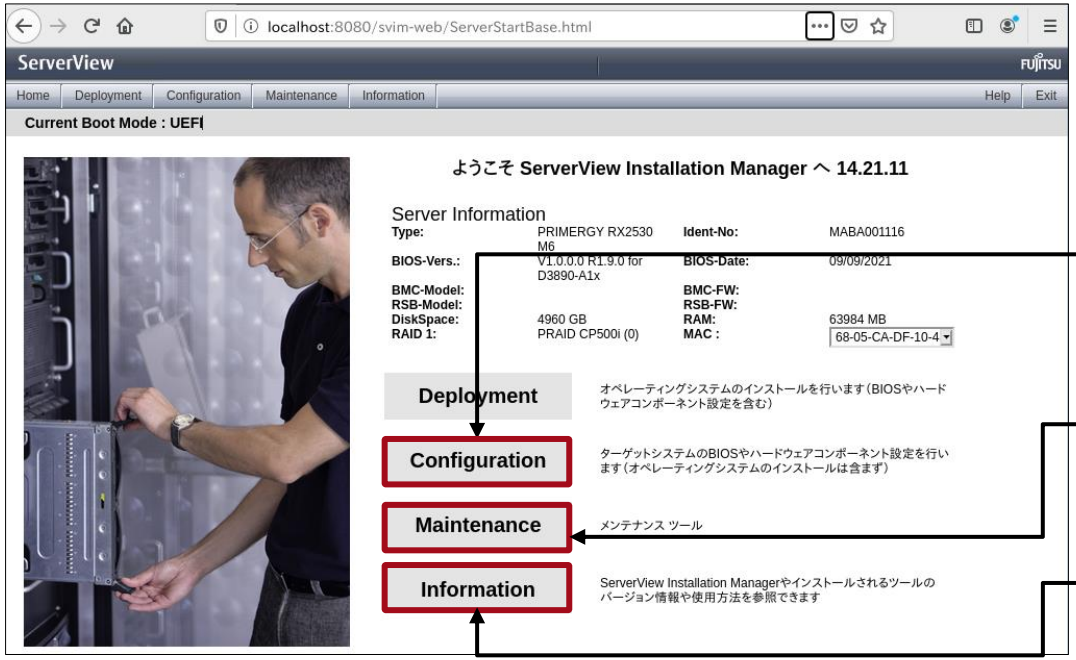
© 2023 Fujitsu Limited

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能（1/7）

FUJITSU

SVIM以外の機能紹介

◆ ServerView Installation Managerでは、「Deployment」だけではなく、以下の各種機能が備わっています。



[Configuration]
OSをインストールせずに、ターゲットシステムのBIOSおよびハードウェアの設定を開始します。

[Maintenance]
メンテナンスプログラムを選択できます。このプログラムを使用して、OSインストールとは別に、サーバー上でコンフィグレーションおよびメンテナンスタスクを実行できます。

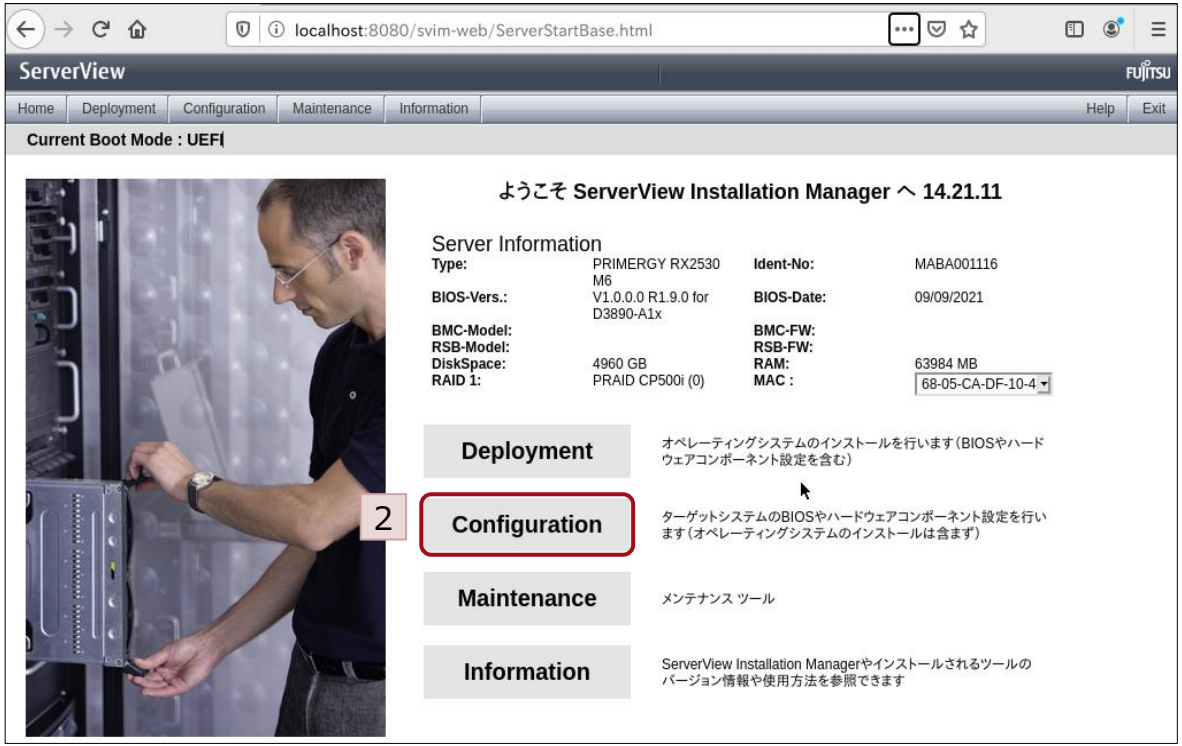
[Information]
SVIMやインストールされるツールの、バージョン情報や使用方法を参照できます。

© 2023 Fujitsu Limited

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能（2/7）

FUJITSU

Configuration -1



1. ServerView Suite DVD 1よりサーバーをブートし、SVIMを起動します。

2. [Configuration]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能（3/7）

FUJITSU

Configuration -2

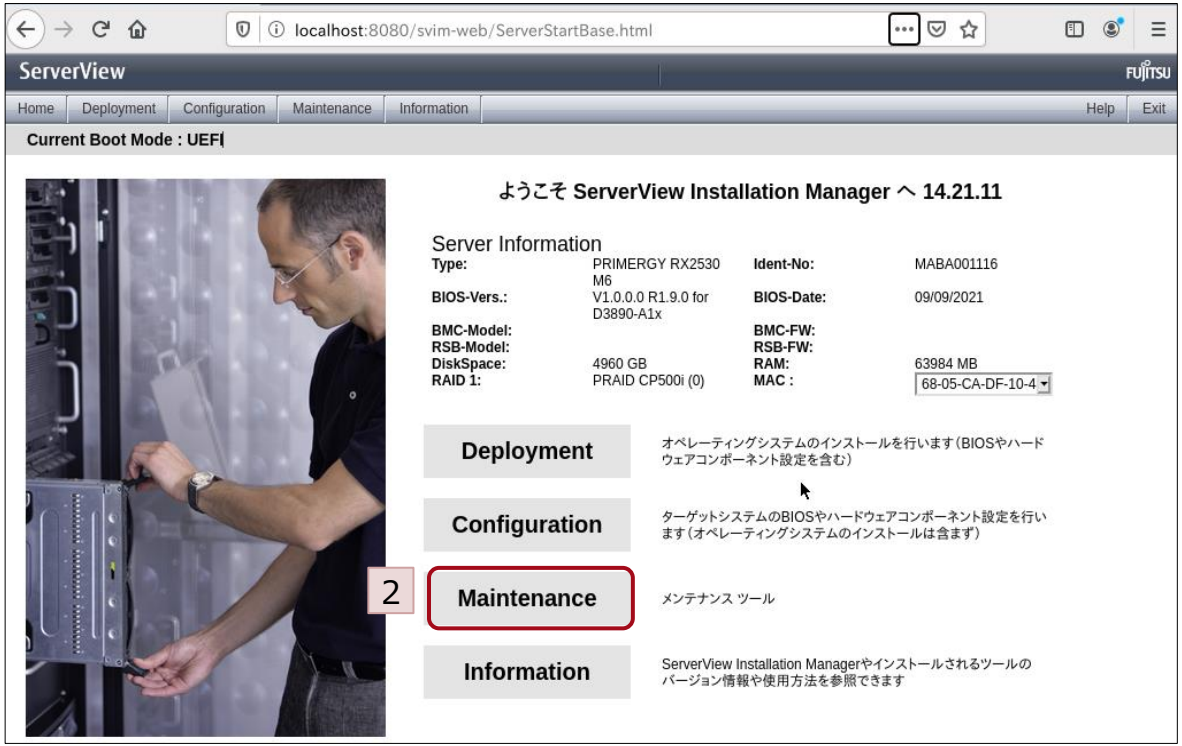
3. BIOS、ハードウェア設定の画面が表示されます。

© 2023 Fujitsu Limited

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能（4/7）

FUJITSU

Maintenance -1



1. ServerView Suite DVD 1よりサーバーをブートし、SVIMを起動します。

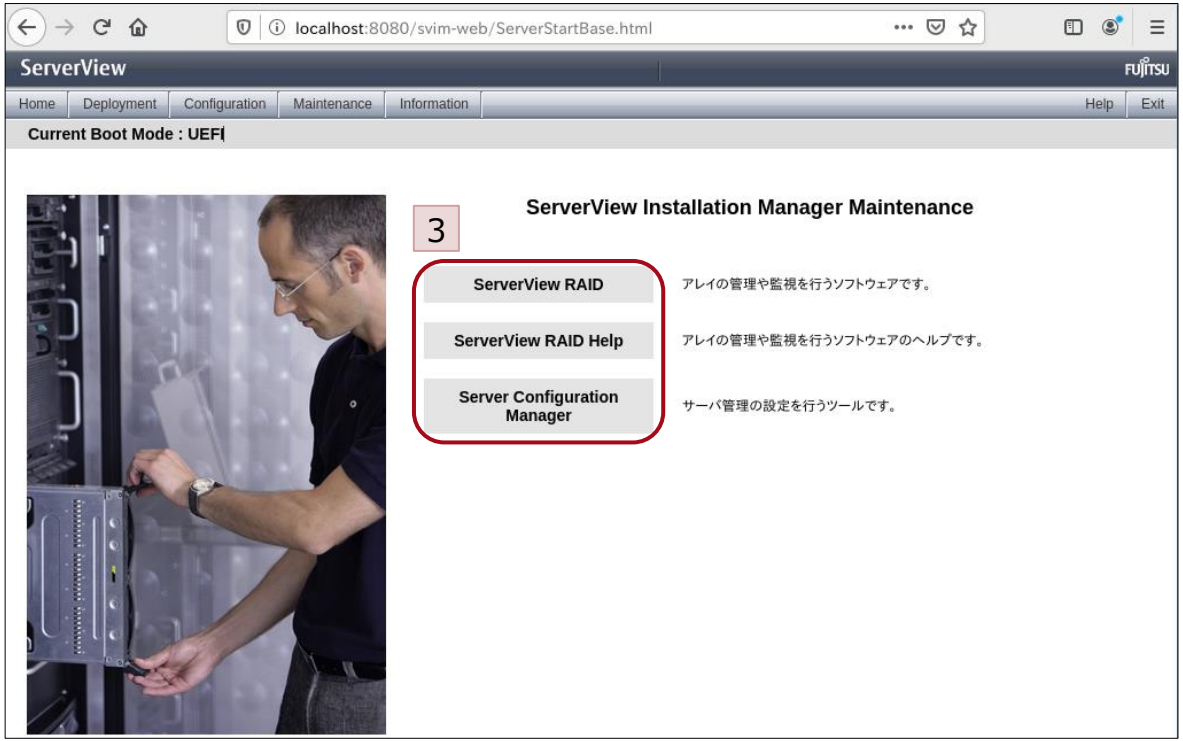
2. [Maintenance]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能（5/7）

FUJITSU

Maintenance -2



3. メンテナンスツールの画面が表示されます。
必要なツールを起動してください。

■ ServerView RAID：
アレイの管理や監視を行うソフトウェアです。

■ ServerView RAID Help：
上記ソフトウェアのヘルプです。

■ Server Configuration Manager：
サーバー管理の設定を行うツールです。

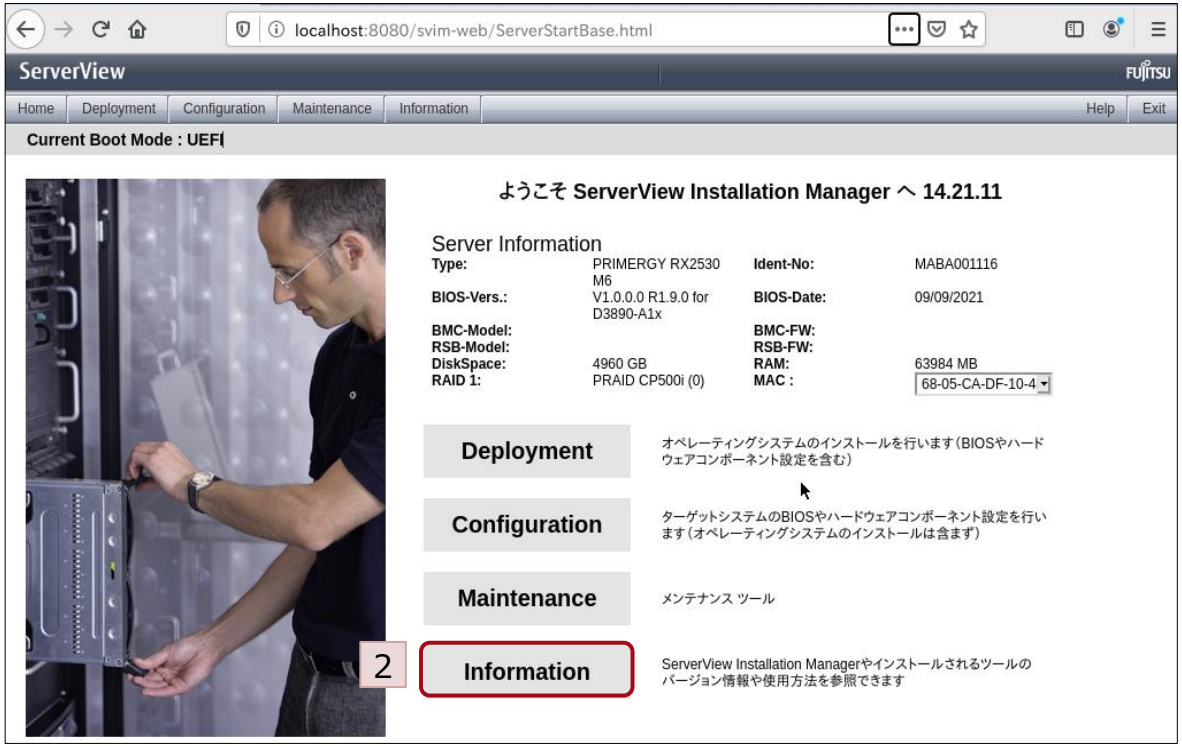
※1wayM5/M7世代機は、SVRM/SCMが使用できません。

© 2023 Fujitsu Limited

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能（6/7）

FUJITSU

Information -1



1. ServerView Suite DVD 1よりサーバーをブートし、SVIMを起動します。

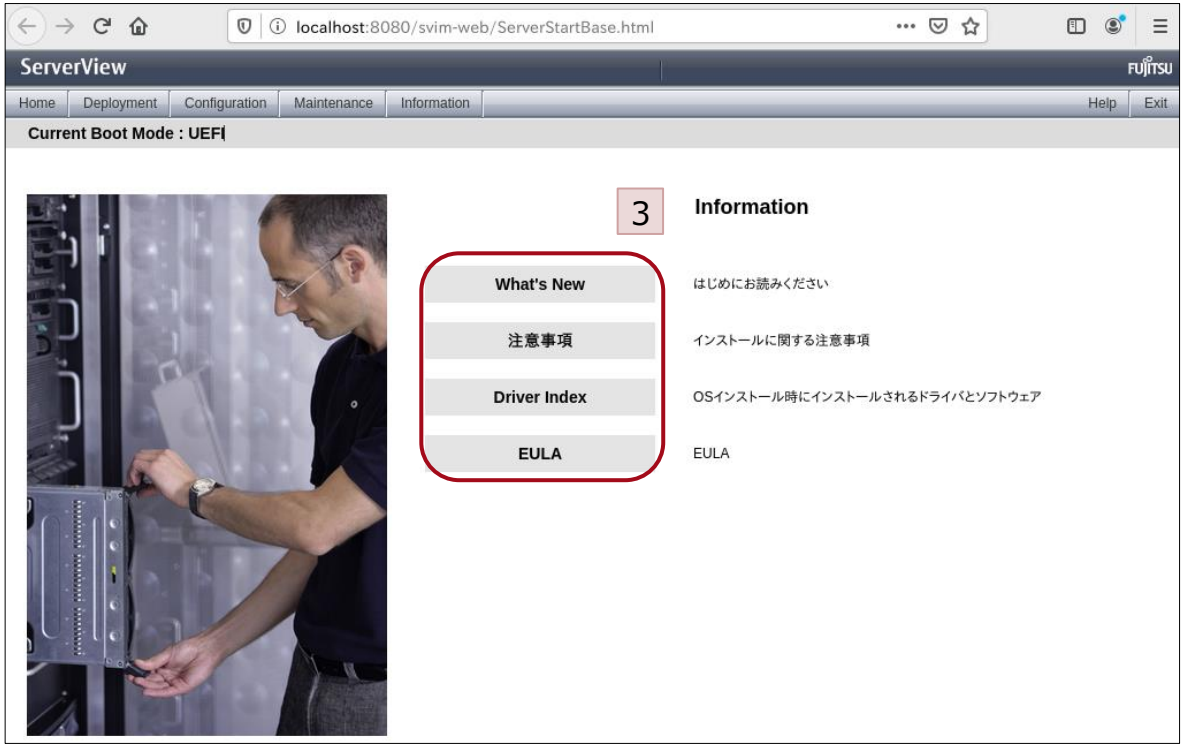
2. [Information]をクリックします。

© 2023 Fujitsu Limited

4.1 （ご参考）SVIMのOSインストール以外の機能（7/7）

FUJITSU

Information -2



3. Information画面が表示されます。
必要な情報を参照してください。

- ■ What's New：SVIMの最新リリースや以前リリースの変更履歴を提供します。
- ■ 注意事項：制約や製品の依存関係に関する情報や、推奨する解決方法を提供します。
- ■ Driver Index：OSインストール時にインストールされるドライバーとソフトウェアを提供します。
- ■ EULA：エンドユーザーソフトウェア使用許諾契約書を参照できます。

© 2023 Fujitsu Limited

Thank you

© 2023 Fujitsu Limited